

# PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : **2002-275060**

(43)Date of publication of application : **25.09.2002**

(51)Int.CI.

A61K 31/216  
A61K 7/00  
A61K 7/06  
A61K 7/075  
A61K 7/08  
A61K 7/11  
A61K 7/44  
A61K 7/48  
A61K 7/50  
A61K 31/60  
A61K 31/609  
A61K 31/7034  
A61P 17/14  
A61P 17/16

(21)Application number : **2001-075402**

(71)Applicant : **ICHIMARU PHARCOS CO LTD**

(22)Date of filing : **16.03.2001**

(72)Inventor : **HASEGAWA JUNICHI  
TANAKA KIYOTAKA**

## (54) MELANOGENESIS PROMOTING AGENT

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To obtain a new and safe cosmetic composition.

SOLUTION: The melanogenesis promoting agent or cosmetic composition contains at least one compound selected from salicylic acid, its derivatives and their salts and/or at least one compound selected from salicyl alcohol or its derivatives as active components. The melanogenesis promoting agent or cosmetic composition containing at least one compound selected from salicylic acid, its derivatives and their salts and/or at least one compound selected from salicyl alcohol or its derivatives as active components has excellent melanogenesis promoting action, increases the melanine contents of the skin and hair to protect the skin from various disorders caused by ultraviolet rays, or the like, and gives brown skin and black hair having excellent appearance. The cosmetic composition can sufficiently develop the effect of active components to improve various skin and hair states simultaneously with the promotion of melanogenesis and is more preferable from the viewpoint of functionality.

## LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

(19)日本国特許庁 (JP)

(12)公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2002-275060

(P 2 0 0 2 - 2 7 5 0 6 0 A)

(43)公開日 平成14年9月25日(2002.9.25)

(51) Int. Cl.<sup>7</sup>

A61K 31/216

7/00

7/06

7/075

識別記号

F I

A61K 31/216

7/00

7/06

7/075

テマコード (参考)

4C083

C 4C086

F 4C206

審査請求 未請求 請求項の数 3 O L (全30頁) 最終頁に続く

(21)出願番号

特願2001-75402(P 2001-75402)

(22)出願日

平成13年3月16日(2001.3.16)

(71)出願人 000119472

一丸ファルコス株式会社

岐阜県本巣郡真正町浅木318番地の1

(72)発明者 長谷川 順一

岐阜県本巣郡真正町浅木318番地の1 一

丸ファルコス株式会社内

(72)発明者 田中 清隆

岐阜県本巣郡真正町浅木318番地の1 一

丸ファルコス株式会社内

最終頁に続く

(54)【発明の名称】メラニン生成促進剤

(57)【要約】

ことができる。

【課題】新規で安全な化粧料組成物を提供することを課題とする。

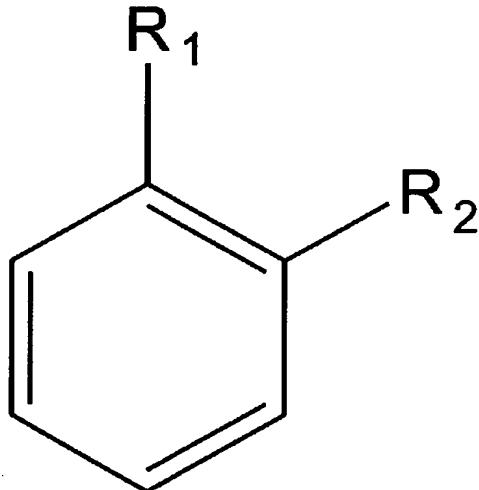
【解決手段】サリチル酸又はその誘導体、又はそれらの塩から選ばれる少なくとも1種以上、及び／又はサリチルアルコール又はその誘導体から選ばれる少なくとも1種以上を有効成分として含有するメラニン生成促進剤又は化粧料組成物を提供するものである。

【効果】サリチル酸又はその誘導体、又はそれらの塩から選ばれる少なくとも1種以上、及び／又はサリチルアルコール又はその誘導体から選ばれる少なくとも1種以上を有効成分として含有するメラニン生成促進剤又は化粧料組成物はメラニン生成促進作用に優れ、皮膚及び毛髪のメラニン量を増加させ、紫外線等が原因となる様々な皮膚障害が生じることなく、外観上優れた皮膚の褐色化や毛髪の黒色化することができる。更には、併用する他の有効成分の効能を阻害することができないため、メラニン生成促進と同時に、様々な皮膚及び毛髪の状態の改善化をもたらす有効成分の効能を十分発現させることができ、機能性の点でより好ましい化粧料組成物を提供する

## 【特許請求の範囲】

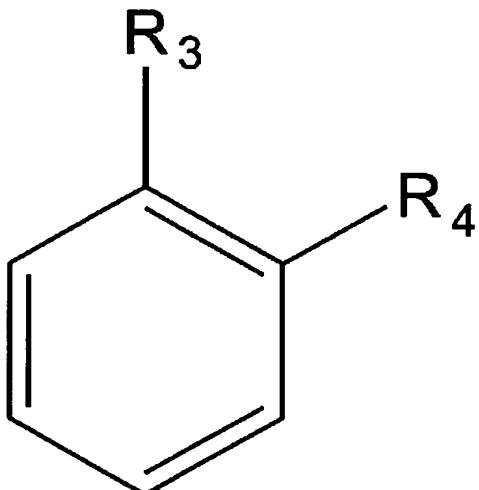
【請求項1】一般式Iで示されるサリチル酸又はその誘導体、又はそれらの塩から選ばれる少なくとも1種以上の化合物、及び／又は一般式IIで示されるサリチルアルコール又はその誘導体から選ばれる少なくとも1種以上の化合物を有効成分として含有することを特徴とするメラニン生成促進剤。

## 【化1】一般式I



〔一般式中のR<sub>1</sub>は、カルボキシル基(-COOH)、又はヒドロキシル基(-OH)を有する化合物とエステル結合を成しているカルボキシル基、又はアミノ基(-NH<sub>2</sub>)を有する化合物とアミド結合を成しているカルボキシル基である。R<sub>2</sub>はヒドロキシル基、又はカルボキシル基を有する化合物とエステル結合を成しているヒドロキシル基、又はヒドロキシル基を有する化合物とエーテル結合を成しているヒドロキシル基である。〕

## 【化2】一般式II



〔一般式中のR<sub>3</sub>は、ヒドロキシメチル基(-CH<sub>2</sub>OH)、又はカルボキシル基を有する化合物とエステル結合を成しているヒドロキシメチル基、又はヒドロキシル基を有する化合物とエーテル結合を成しているヒドロキシメチル基である。R<sub>4</sub>はヒドロキシル基(-OH)、又はカルボキ

シル基を有する化合物とエステル結合を成しているヒドロキシル基、又はヒドロキシル基を有する化合物とエーテル結合を成しているヒドロキシル基である。〕

【請求項2】一般式Iで示されるサリチル酸又はその誘導体、又はそれらの塩が2-ヒドロキシベンゾイルアミノ酢酸又はサリチル酸ナトリウムである、及び／又は一般式IIで示されるサリチルアルコール又はその誘導体が2-ヒドロキシフェニルメチル酢酸エステル又は2-ヒドロキシメチルフェニル-β-D-グルコピラノシドである請求項1記載のメラニン生成促進剤。

【請求項3】一般式Iで示されるサリチル酸又はその誘導体、又はそれらの塩から選ばれる少なくとも1種以上の化合物、及び／又は一般式IIで示されるサリチルアルコール又はその誘導体から選ばれる少なくとも1種以上の化合物を有効成分とする請求項1又は2記載のメラニン生成促進剤を含有することを特徴とする化粧料組成物。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

20 【発明の属する技術分野】本発明は、サリチル酸又はその誘導体、又はそれらの塩から選ばれる少なくとも1種以上の化合物、及び／又はサリチルアルコール又はその誘導体から選ばれる少なくとも1種以上の化合物を有効成分として含有するメラニン生成促進剤又は化粧料組成物への応用に関するものである。

## 【0002】

【従来の技術】人の皮膚や毛髪の色を決定する因子の1つとして表皮や毛髪中のメラニン色素の量が深く関係している。このメラニン色素は表皮基底層及び毛根部、外30 毛根鞘に存在する色素細胞(メラノサイト)内の小器官であるメラノソームで生成され、様々な生合成と移相過程を経て、皮膚や毛髪にその色素が沈着することより、皮膚や毛髪の色彩が形成される。このメラニン色素は皮膚や毛髪の色彩を形成する機能以外に、特に皮膚において重要な役割である紫外線からの皮膚組織の防御という機能も有している。

【0003】しかし、皮膚中のメラニン量が少ない白人や色素細胞不完全症者等は、紫外線の悪影響を受けやすく、色素沈着不足障害に起因する小色斑(しみ)や尋40 常性白斑、脱色素性母斑、不規則色素沈着等の皮膚疾病や、重度なものでは黒色腫等の皮膚癌の発病等を引き起こしやすい。又、毛髪中のメラニン量も加齢と共に減少する傾向にあり、これは毛球中等に存在するメラニン細胞の数や活性の低下によりメラニンが著しく減少することに起因し、美容的及び心理的に改善が望まれる状態となってくる。

【0004】これまで皮膚に対する紫外線の防御に関しては、紫外線遮断剤や紫外線吸収剤等を用いて、紫外線そのものを排除する方法の他、逆に適度な紫外線を肌に50 照射することで皮膚中のメラニン色素の生成を促進さ

せ、メラニン色素を皮膚に沈着させることで、皮膚が本来有する紫外線防御作用を発現させると共に、褐色の肌色といった外観上の効能を発現させる方法が知られている。毛髪に関しては、染毛剤等を用いて、退色化した毛髪を黒色に染めることで美容的な改善が図られている。

【0005】しかし、皮膚に対し適度に紫外線を照射する方法は、紫外線照射により誘導されるメラニン色素が沈着するまでに、皮膚組織に対して紫外線、特にUV-Aが真皮層のコラーゲンやエラスチン等の線維を破壊し皮膚弾力を低下させたり、皮膚老化に深く関与する活性酸素や過酸化脂質を生成させたりする等の非常に重篤な皮膚障害が生じる。又、毛髪に関しても染毛剤による一時的な染色であるため、黒色の維持が恒久的でないばかりか、処置方法によっては均一な色彩が得られない等の問題がある。

#### 【0006】

【発明が解決しようとする課題】このような事情に鑑み、本発明者らは、皮膚又は毛髪中のメラニン色素生成及び沈着を誘導及び促進させることで、皮膚障害を起こすことなく、皮膚が本来有する紫外線防御作用を発現させること、及び皮膚の均一な色彩や毛髪の退色化防止又は改善等の外観的効能を発現させる方法について検討を行った。その結果、サリチル酸又はその誘導体、又はそれらの塩から選ばれる少なくとも1種以上の化合物、及び／又はサリチルアルコール又はその誘導体から選ばれる少なくとも1種以上の化合物が、色素細胞（メラノサイト）におけるメラニン生成を促進する作用を有し、皮膚及び毛髪中のメラニン量を増加させるという知見を得た。

#### 【0007】

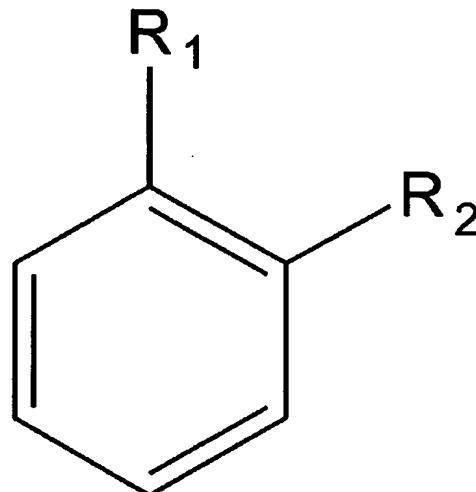
【課題を解決するための手段】即ち、本発明はサリチル酸又はその誘導体、又はそれらの塩から選ばれる少なくとも1種以上の化合物、及び／又はサリチルアルコール又はその誘導体から選ばれる少なくとも1種以上の化合物を有効成分として含有するメラニン生成促進剤、又はメラニン生成促進剤を有効成分として含有する化粧料組成物を提供するものである。

#### 【0008】

【発明の実施の形態】本発明で用いるサリチル酸又はその誘導体は一般式Iに示される構造を有する化合物である。又、本発明で用いるサリチルアルコール又はその誘導体は一般式IIに示される構造を有する化合物である。

#### 【0009】

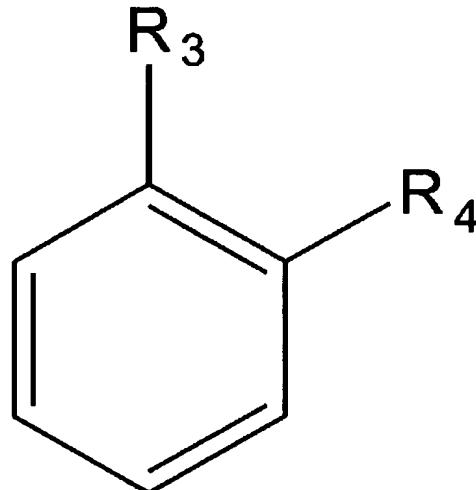
#### 【化3】一般式I



〔一般式中のR<sub>1</sub>は、カルボキシル基（-COOH）、又はヒドロキシル基（-OH）を有する化合物とエステル結合を成しているカルボキシル基、又はアミノ基（-NH<sub>2</sub>）を有する化合物とアミド結合を成しているカルボキシル基である。R<sub>2</sub>はヒドロキシル基、又はカルボキシル基を有する化合物とエステル結合を成しているヒドロキシル基、又はヒドロキシル基を有する化合物とエーテル結合を成しているヒドロキシル基である。〕

#### 【0010】

#### 【化4】一般式II



〔一般式中のR<sub>3</sub>は、ヒドロキシメチル基（-CH<sub>2</sub>OH）、又はカルボキシル基を有する化合物とエステル結合を成しているヒドロキシメチル基、又はヒドロキシル基を有する化合物とエーテル結合を成しているヒドロキシメチル基である。R<sub>4</sub>はヒドロキシル基（-OH）、又はカルボキシル基を有する化合物とエステル結合を成しているヒドロキシル基、又はヒドロキシル基を有する化合物とエーテル結合を成しているヒドロキシル基である。〕

【0011】一般式Iで示される、アミノ基を有する化合物としては、アミノ基を少なくとも1つ以上有する化合物なら全てが適用可能であり、例えば、グアニン、アデニン、シトシン、チミン、ウラシル、イソグアニン、

グリシルグリシン、グリシルプロリン、シトルリン、グルタチオン、シスタチオン、システイン酸等の核酸類、バリン、ロイシン、イソロイシン、トレオニン、メチオニン、フェニルアラニン、トリプトファン、リジン、グリシン、アラニン、アスパラギン、グルタミン、セリン、システイン、シスチン、チロシン、プロリン、ヒドロキシプロリン、アスパラギン酸、グルタミン酸、ヒドロキシリジン、アルギニン、オルニチン、ヒスチジン、N-アセチルグルタミン酸、N-アセチルメチオニン、N-アセチルオルニチン、N-アセチルグリシン、N-アセチルセリン、アデノシルホモシステイン、アデノシルメチオニン、アラニルグリシン、アルギノコハク酸、アロイソロイシン、アロトレオニン、イソバリン、 $\gamma$ -グルタミルシステイン、ノルロイシン、ヒドロキシトリプトファン、ヒドロキシフェニルグリシン、ヒドロキシリジン、フェニルグリシン、フェニルグリシンカルボン酸、ホモセリン、メチルシステイン、メチルヒスチジン、ランチオニン等のアミノ酸類、アミノ酢酸、メチロール尿素、メプロバメート、メチルヒドロキシルアミン、メチルグアニジン、ラクトアミド、アミノエタノール、エチルアミン、アミノ吉草酸、イソアミノ吉草酸、アミノ酪酸、アミノレブリン酸、エチルヒドラジン、エチルヒドロキシルアミン、エチルヘキシルアミン、オクチルアミン、カルバミン酸、イソペンチルアミン、グリコールアミド、クロロアセトアミド、ブチルアミド、ブチルアミン、プロピオニアミド、プロビルアミン、尿素、プロムワレリル尿素、プロモイソバレリル尿素、ヘキサンアミド、ヘキシルアミン、ヘプタンアミド、ホルムアミドオキシム、メタクリリアミド、メチルチオ尿素、メチルニトロ尿素、メチル尿素等の一価アミド類、アジポアミド、グアニジン、ベンタジアミン、グリシンアミド、グアニジノ酪酸アミド、フタルアミド、ベンゼントリアミン、マルアミド等の多価アミド類、アニシン、アニリン、アミノアセトアニリド、アミノアセトフェノン、アミノアゾトルエン、アミノアゾナフタレン、アミノアゾベンゼン、アミノアントラキノン、アミノキノリン、アミノクレゾール、アミノジクロロフェノール、アミノスチレン、アミノトルエンスルホン酸、アミノナフトール、アミノニトロ安息香酸、アミノニトロフェノール、アミノピコリン、アミノフェノール、アミノ安息香酸、アミノ安息香酸エチル、アミノ安息香酸メチル、アミノケイ皮酸、アミノフタルイミド、アミノフルオレン、アミノベンジルアルコール、アミノベンゼンスルホン酸、アミノベンゼンチオール、アミノベンゾニトリル、アミノレゾシノール、アンフェタミン、エチルアニリン、エチルフェニルヒドラジン、オルトカイン、カルバクリルアミン、キシリジン、キシリレンジアミン、クロロアニリン、フェナシルアミン、フェニルアセトアミド、フェニルセミカルバミド、フェニルヒドラジン、フェネチジン、フェネチルアミン、ブチルアニリン、フラバニリ

ン、フロオレンジアミン、フロオロアニリン、プロカイン、プロモアニリン、プロモフェニルヒドラジン、ベンジン、ベンジルアニリン、ベンジルアミン、ベンジルチオ尿素、ベンジル尿素、ベンジルヒドラジン、ベンジルヒドロキシルアミン、ベンズアミジン、ベンズアミド、ベンズアミドオキシム、ベンズアルデヒドヒドラゾン、ベンゼンスルホンアミド、ベンゾイルチオ尿素、ベンゾイル尿素、ベンゾヒドラジド、ベンタクロロアニリン、ベンタメチルアニリン、メスカリン、メチルフェニルヒドラジン、メチルフェニレンジアミン、メチルベンジルアミン、ヨードアニリン等の芳香族アミド類、その他、アセタゾラミド、グルコサミン、アセトラセンアミド、ウラミル、カンフィルアミン、フルフリルアミン、メチルシトシン、メトキシトリプタミン、メラミン、ルミノール、ロイコアニリン、ロイコブテリン、グアニジン、アミノグアニジン等が挙げられる。特に一般式IにおけるR<sub>1</sub>がアミノ酢酸とアミド結合を成し、R<sub>2</sub>がヒドロキシル基である2-ヒドロキシベンゾイルアミノ酢酸を用いるのが好ましい。

【0012】一般式I及びIIで示される、カルボキシル基を有する化合物としては、カルボキシル基を少なくとも1つ以上有する化合物なら全てが適用可能であり、例えば、アセトキシプロピオン酸、イソ吉草酸、アミノ吉草酸、エトキシ酢酸、エトキシプロピオン酸、イソアミノ吉草酸、エポキシオレイン酸、エライジン酸、アミノ酪酸、エルカ酸、オキサロ酢酸、オレイン酸、アミノレブリン酸、2-アミノ4-グアニジノオキシ酪酸、アンゲリカ酸、ガラクツロン酸、カルバミン酸、イコサトリエン酸、ギ酸、ギ酸アリル、ギ酸イソブチル、イコサン酸、ギ酸イソペンチル、グルクロン酸、イズロン酸、クロトン酸、クロロイソクロトン酸、イソクロトン酸、酢酸、ジヒドロリポ酸、エチルクロトン酸、ジフェニル酢酸、ジメトキシタル酸、エチルヒドロキシ酪酸、スクシンアミド酸、ステアリン酸、ステアロル酸、ソルビン酸、チグリン酸、チロキシン、デカン酸、トロバ酸、乳酸、ヒドロキシイソ酪酸、ヒドロキシ吉草酸、ビルビン酸、ブチル酢酸、ブチルヒドロペルオキシド、プラシジン酸、プロピオル酸、ピロピオノ酸、プロモイソ吉草酸、プロモイソ酪酸、プロモプロピオノ酸、ヘキサン酸、ヘキセン酸、ペトロセリン酸、ヘプタデカン酸、ヘプタン酸、アレアニル酸、マレアミド酸、マレアミド酸、ミコール酸、ミリスチン酸、メタクリル酸、メチル吉草酸、メチルチオ酢酸、メチル酪酸、メバロン酸、メリシン酸、メルカプト酢酸、ヨード酢酸、ラウリン酸、リシネライジン酸、リシノール酸、リノール酸、リノレン酸等の脂肪族一価カルボン酸類、アコニット酸、オキサロコハク酸、オキソグルタル酸、アジピン酸、カルセイン、カルボキシフェニル酢酸、アセトキシコハク酸、カルボキシコメロン酸、カンホロン酸、イソカンホロン酸、グルタコン酸、グルタル酸、イソクエン酸、クロセチン、

コハク酸、フタル酸、フマル酸、イソシンコメロン酸、ジエチレントリアミン五酢酸、イソフタル酸、シトラマル酸、ジニコチン酸、イタコン酸、ジブロモコハク酸、ジクロロコハク酸、エチルマロン酸、ジメチルコハク酸、シュウ酸、酒石酸、シンコメロン酸、スルホニル二酢酸、セバシン酸、タルトロン酸、デソキサル酸、テトラクロロフタル酸、テトラヒドロキシコハク酸、テトラメチルコハク酸、テレフタル酸、トリメシン酸、トリメリト酸、ナフトアル酸、ニトロフタル酸、ピキシン、ヒドロキシイソフタル酸、ヒドロキシフタル酸、ブレニト酸、ヒドロキシメチルペンタン二酸、ピロメリト酸、フェニルコハク酸、プロパントリカルボン酸、プロモコハク酸、プロモフマル酸、プロモマレイン酸、ヘミメリト酸、ペラルゴン酸、ペルベロン酸、ベンゼンヘキサカルボン酸、ベンゼンペンタカルボン酸、マレイン酸、マロン酸、メサコン酸、メソ酒石酸、メソシュウ酸、メチルイソフタル酸、メチルコハク酸、メチルマロン酸、メルカブトコハク酸、メロファン酸、ペルオキシフタル酸、リンゴ酸、ルチジン酸、ロイコトリエン等の多価カルボン酸類、メチルアントラニル酸、メルカブト安息香酸、ヨード安息香酸、ベンジル安息香酸、ベンズアミド安息香酸、アセチル安息香酸、エチル安息香酸、オピアン酸、オルセリン酸、アセトアミド安息香酸、カルボキシオキサニル酸、アゾキシニ安息香酸、クロロ安息香酸、クロロ過安息香酸、アニス酸、ゲンチシン酸、ジアミノ安息香酸、シキミ酸、アミノ安息香酸、ヒドロキシ安息香酸、ジブロモ安息香酸、ベンソイル安息香酸、アミノニトロ安息香酸、ジメチルアミノ安息香酸、ジメチル安息香酸、安息香酸、スルホ安息香酸、テレフタルアルデヒド酸、イソフタルアルデヒド酸、トリクロロ安息香酸、トリニトロ安息香酸、イソブロビル安息香酸、トリヒドロキシ安息香酸、トリメチル安息香酸、トルイル酸、トルオイル安息香酸、ニトロ安息香酸、パニリン酸、イドラゾニ安息香酸、ヒドロキシ安息香酸、ヒドロキシトルイル安息香酸、ピペロニル酸、フェノキシ安息香酸、フルオロ安息香酸、ペラトルム酸、プロトカテクト酸、プロベネシド、プロモ安息香酸、プロモアントラニル酸、アミノケイ皮酸、イソブロビルケイ皮酸、オキサニル酸、アレカイジン、カルボキシケイ皮酸、ケイ皮酸、アロキサン酸、ケトシクロヘキサンカルボン酸、アントラキノンカルボン酸、シクロブタンカルボン酸、アントラセンカルボン酸、シクロプロパンカルボン酸、イソニコチン酸、シクロヘキサンカルボン酸、シクロプロパンカルボン酸、イソニコペニン酸、シクロヘキサンジアミン四酢酸、シクロヘキサンジカルボン酸、イブプロフェン、シクロヘキセンジカルボン酸、シクロペニタンカルボン酸、インドメタシン、インドール酢酸、シクロペニタンジカルボン酸、ジメチルフランカルボン酸、シンコフェン、ガロイル没食子酸、トラネキサム酸、ニトロケイ皮酸、ヒドロキシケイ皮酸、メトキシケイ皮

酸、ヒドロキシヒドロケイ皮酸、フェニルケイ皮酸、フェルラ酸、プロモケイ皮酸、ヘスペリチン酸、没食子酸、メチルケイ皮酸等の芳香族カルボン酸類、その他、ウルソデオキシコール酸、エラグ酸、オロチジン、オロト酸、カンファン酸、キナ酸、ヒドロキシプロリン、エチオコラン酸、カウルモオグル酸、カルノシン、カルバゾール酢酸、キノリンカルボン酸、キノリン酸、キノリンジカルボン酸、クマリン酸、クロロフェノキシ酢酸、ケノデオキシコール酸、コラン酸、コール酸、サントニン酸、ジヒドロオルト酸、スクシニナル酸、チオフェンカルボン酸、テトラヒドロ葉酸、デヒドロコール酸、テルペニル酸、テレビン酸、トイミノール酸、ドーパ、トロンボキサン、ナフトエ酸、ナフトエ酸、ナリジクス酸、ニトロキナジル酸、ニトロフェニルプロピオール酸、ニコペチン酸、ルコナン酸、ドーパキノン、ヒオデオキシコール酸、ヒドロアトロバ酸、ヒドロキシイソブロピルトルイル酸、ヒドロキシシクロヘキサンカルボン酸、ヒドロキシビロンカルボン酸、ヒドロキシビロンジカルボン酸、ヒドロキシフェニル酢酸、ヒドロキシフェニルプロピオン酸、ヒフェニルジカルボン酸、ビペコリン酸、ビペリン酸、ピマル酸、ピリジル酸、ピログルタミン酸、ピロールカルボン酸、ピロンカルボン酸、ピロンジカルボン酸、フェニルアントラニル酸、フェニルカルバミン酸、フェニルグリシド酸、フェニル酢酸、フェニルチオ酢酸、フェニル乳酸、フェニルビルビン酸、フェニルブテン酸、フェニルプロピオル酸、フェニル酪酸、フェニレン<sup>2</sup>酢酸、フェノールフタリン、フェンコル酸、フシジン酸、プロテロイン酸、フランカルボン酸、フランジカルボン酸、フリル酸、フルオレセイン、フルオロフェニル酢酸、プロスタグラジン、プロスタサイクリン、プロモマンデル酸、ヘモピロールカルボン酸、ベンジシンカルボン酸、ベンジリデンマロン酸、ベンジル酸、ベンゾイルアクリル酸、ベンゾイルオキシ酢酸、ベンゾイルオキシプロピオン酸、ベンゾイルギ酸、ベンゾイル酢酸、ベンゾイルプロピオン酸、ベンゾフェノンカルボン酸、ベンゾフランカルボン酸、ポドカルビン酸、ホモゲンチシン酸、マンデル酸、ムリコール酸、メチルドーパ、メチルフェニル酢酸、メチルフランカルボン酸、メチルレッド、メフェナム酸、リセルグ酸、リトコール酸、リボ酸、レセルピン酸、レチノイン酸、レボピマル酸等が挙げられる。特に一般式IIの化合物におけるR<sub>1</sub>が酢酸とエステル結合を成し、R<sub>4</sub>がヒドロキシリル基である2-ヒドロキシフェニルメチル酢酸エステルを用いるのが好ましい。

【0013】一般式I及びIIで示される、ヒドロキシリル基を有する化合物としては、ヒドロキシリル基を少なくとも1つ以上有する化合物なら全てが適用可能であり、例えば、イソオクチルアルコール、エチルヘキサノール、イソフィトール、エチルペニタノール、オキサロ酢酸、イソブチルアルコール、オキサロコハク酸、イソブチレ

ングリコール、グリコールアミド、エチルアミノエタノール、ゲラニオール、プロモエタノール、エチルヒドロキシ酪酸、サンタロール、ブルモブタノール、ブチルアミンエタノール、ジメチルヘキサノール、ジメチルペタノール、スフィンゴシン、プロモプロパノール、ソルビンアルコール、デカノール、プロパノール、トリアコンタノール、トリクロロエタノール、トリクロロエトキシエタノール、ニトロエタノール、ネロール、ノナノール、ヒドロキシベンタナール、ヒドロキシメチルベンタナール、ブタノール、ブテンオール、ヘキサデカナー  
ル、ヘキサノール、ヘキセンオール、ヘプタデカノール、ヘプタノール、ベンズアルデヒドオキシム、ペタノール、ペンタデカノール、メチルブタノール、メチルブチンオール、メチルペンタノール、メトキシプロパノール、メルカプトエタノール、ヨードエタノール、リナオール、ロジノール、ラウリルアルコール、ミリスチルアルコール、パルミチルアルコール、ステアリルアルコール、ベヘニルアルコール、ヘキサデシルアルコール、オレイルアルコール、イソステアリルアルコール、ヘキシルドデカノール、オクチルドデカノール、セトステアリルアルコール、2-デシルテトラデシノール、メタノール、エタノール、セタノール、アセトイソ等の脂肪族一価アルコール類、アントラセンジオール、キノリンジオール、グリオキシム、グリセルアルデヒド、アントラセノール、セドヘプチトール、プロパンジオール、イノシトール、ウスニン酸、ウルシオール、ウルソデオキシコール酸、エチルボロン酸、ジエタノールアミン、ジエチルプロパンジオール、ジエチレングリコール、ジエトキシプロパンジオール、シクロヘキサンジオール、シクロヘキサンジオン、シクロヘキサントリオール、ジヒドロキシオクタデカン酸、ジヒドロキシケイ皮酸、ジメチルシクロベンタンジオール、ジメチルプロパンジオール、ジメチルベンゼンジオール、酒石酸アミド、チオグリセリン、トリエチレングリコール、ニトロプロピルプロパンジオール、ブタンジオール、ブチンジオール、ヘキサンジオール、ペンタンジオール、ペンタントリオール、ペンタンベンタオール、酸化エチレン、エチレングリコール、ジエチレングリコール、トリエチレングリコール、ポリエチレングリコール、酸化プロピレン、プロピレングリコール、ポリプロピレングリコール、1,3-ブチレングリコール、ベンチルグリコール、グリセリン、ペンタエリトリトール、トレイトール、アラビトール、キシリトール、リビトール、ガラクトトール、ソルビトール、マンニトール、ラクチトール、マルチトール、メタンジオール、メチルブタンジオール、モノアセチン、ラムニトール等の多価アルコール類、アガロビオース、N-アセチルガラクトサミン、N-アセチルグルコサミン、N-アセチルノイラミン酸、N-アセチルアニノサミン、アベクオース、アラビノース、アルトロース、アロース、イズロン酸、マルトース、イドース、イヌリン、

エリトロース、オレアンドロース、ガラクトロン酸、ガラクトサミン、ガラクトース、キシロース、キシロビオース、キノボース、グリカール、ペルセイトール、ケトオクトース、グルクロノラクトン、グルクロン酸、グルコサミン、グルコース、グルコノラクトン、グルクロン酸、グロン酸、ゲンチアノース、ゲンチオビオース、コーチビオース、コンドロイチン、コンドロイシン、ジギタロース、ジギトキソース、シマロース、スクロース、スタミオース、ストレプトース、セドヘプツロース、セロトリオース、セロビオース、ソホロース、ソラソニン、ソラニン、ソルボース、タロース、ツラノース、デオキシグルコース、デオキシグルコン酸、デオキシリボース、デソサミン、テトラメチルグルコース、テトラメチルグルコン酸、トリメチルグルコース、トレオース、トレハロース、ニゲロース、ノイラミン酸、ヒアロビロン酸、ビオブテリン、フコース、ブシコース、プランテオース、フルクトース、マイコサミン、マルトース、マルトトリオース、マルトン酸、マンノース、マンヌロニ酸、ムラミン酸、メチルグルコビラノシド、メチルフルクトフラノシド、メチルマンオビラノシド、メリビオース、メレジトース、ラクトロース、ラクトース、ラフィノース、ラミナリビオース、ラムノース、リキソース、リブロース、リボース、ルチノース等の糖類、アザウリジン、アザグアニン、アスピジン、アセトアミドフェノール、アゾジフェノール、アミノナフトール、アニスアルコール、アミノニトロフェノール、アニリノフェノール、アミノフェノール、アノール、アミノクレゾール、アミノジクロロフェノール、アクリノール、アクリノフラビン、アミノレゾシノール、アリアニンイエロー、アリザニンブルー、アリルフェノール、アルカンニン、イソオイゲノール、イソバニリン、インドフェノール、エチルフェノール、エテニルフェノキシフェノール、オイゲノール、オクトパミン、オリベトール、オルシノール、オルセリン酸、オルトカイン、カテコール、カビペトール、カルバクロール、キシレノール、ギングロール、グアイアコール、クレオソール、クレゾール、クロラニル酸、クロロフェノール、クロロニトロフェノール、ゲンチシン酸、コウジ酸、コニフェリルアルコール、p-シアノフェノール、ジアミノフェノール、ジエチルスチルベストール、ジオスフェノール、シキミ酸、ジニトロクレゾール、ジニトロレゾシノール、ジヒドロキシアセトフェノン、ジフェニルエタノール、ジブチルフェノール、イブチルメチルフェノール、ガロイル没食子酸、チモール、ジフルオロフェノール、ジプロモフェノール、ジブロモニトロフェノール、ジメチルプロピルフェノール、ジメトキシフェノール、シリガアルデヒド、スチフニン酸、チラミン、テトラクロロヒドロキノン、テトラニトロフェノール、テトラヒドロキシベンゼノン、テトラヒドロキシベンゾフェノン、テトラブロモクレゾール、テトラメチルベンゼンジオール、トタロ

ール、ドーパミン、トリアミノフェノール、トリイソプロピルフェノール、トリクロロクレゾール、トリクロロヒドロキノン、トリクロロフェノール、トリニトロクレゾール、トリニトロフェノール、トリヒドロキシアセトフェノン、トリヒドロキシジメチルベンゼン、トリヒドロキシトリフェニルメタン、トリヒドロキシベンゾフェノン、トリブロモフェノール、トリメチルフェノール、トリメチルベンゼントリオール、ニトロフェノール、ニトロレゾルシノール、バニリンアルコール、バニリン、ピクラミン酸、ピクリン酸、ヒドロキシアセトフェノン、ヒドロキシアゾベンゼン、ヒドロキシエフェドリン、ヒドロキシスチレン、ヒドロキシヒドロキノン、ヒドロキシベンズアルデヒド、ヒドロキシベンゼンスルホン酸、ヒドロキノン、ピロガロール、ブチルフェノール、フルオロフェノール、ブロモニトロフェノール、ブロモフェノール、ブロモグルシノール、ヘキシリレゾシノール、ベンジルフェノール、ベンゼンテトラオール、ベンゼンヘキサオール、ベンタクロロフェノール、ベンタメチルフェノール、ホルデニン、メチルアミノフェノール、メチルベンゼンジオール、メトキシフェノール、ヨードフェノール、レゾシノール等のフェノール類、アカセチン、アピゲニン、アントシアニジン、アフィジコリン、アグノステロール、エピカテキン、カテキン、ガランギン、クエルセチン、グラチオゲニン、ゲニステイン、ケンペロール、ジヒドロキシアントラキノン、ジヒドロキシアントロン、ダイゼイン、ナリングニン、フラビアン酸、フラボノール、ヘスペレチン、ミリセチン、モリン、ラムネチン、ルテオリン、ロテノン等のフラボノイド又はテルペノイド類、アスコルビン酸、ジヒドロアスコルビン酸、エルゴカルシフェロール、カルシフェロール、ピロカルシフェロール、デヒドロレチノール、レチノール、ピリドキシン、ピリドキサール、ピリドキサミン、リボフラビン、トコフェロール、トコトリエノール、アミノメチルナフトール等のビタミン類、その他、オキシチアミン、オキシテトラサイクリン、オキシン、オノセリン、オレアノール酸、オレアンドリゲニン、オロチジン、カジノール、カフェストール、ガマブホゲニン、ガランタミン、カルデノリド、カルベオール、カルボスチレン、カルボメントール、カンペステロール、ギトキシゲニン、キナ酸、キナリザリン、クミニルアルコール、クルクミン、クロモトロフロ酸、クロラムフェニコール、クロロゲン酸、コプロスタン、コレチゾン、コルチコステロン、コレカルシフェロール、コレスタロール、コレステロール、ジエンストロール、ジオレイン、ジギトキシゲニン、シクロブチルメタノール、シクロプロパノール、シクロプロピルメタノール、ジヒドロアントロール、シクロヘキサノール、シクロヘキシルメタノール、シクロペンタノール、シクロペンタンジオール、シトステロール、ジニトロナフトール、ジヒドロキシクマリン、ジヒドロキシナフトキノン、ジヒドロ

キシベンゾフェノン、ジヒドロキシベンゾキノン、ジヒドロキシベンタデシルベンゼン、ジヒドロキシメチルアントラキノン、ジヒドロテストステロン、ジメチルシクロヘキサノール、ジメチルシクロペンタノール、ジモステロール、シンナミルアルコール、スクエア酸、スチグマスタノール、スチグマステロール、ストロファチジン、スピナステロール、ゼアチン、セドリン、ソブレノール、ソラニジン、タウロコール酸、チオクロム、チルカトール、チロキシン、ツジヤプリシン、デオキシコール酸、デオキシコルチコステロン、デオキシコルチゾール、デオキシビリドキシン、デキサメタゾン、デスオキシメタゾン、テストステロン、デスマステロール、テトラヒドロキシアントラキノン、テトラヒドロナフトール、テトラヒドロフルフリルアルコール、デヒドロエビアンドステロン、デヒドロエルゴステロール、デヒドロコルチコステロン、デヒドロコレステロール、テベニン、テルピオネール、テルピノール、トリスアミノフェニルメタノール、トリスヒドロキシプロビルアミン、トリスヒドロキシメチルアミノメタン、トリヒドロキシアントラキノン、トリヒドロキシメチルアントラキノン、トリフェニルメタノール、ナフタレンジオール、ナフタレントリオール、ナフチルオキシエタノール、ナフトール、ナフトールスルホン酸、ナンドロロン、ニトロクレゾール、ニトロナフトール、ニトロベンジルアルコール、ニンヒドリン、アミノベンジルアルコール、エフェドリン、アロブリノール、オイキサントン、エキリン、エキレニン、エクジステロン、イソプレゴール、イソメントール、ウンゲルニン、ウングミノリン、ウンベリフレロン、エチニルシクロヘキサノール、エクジソン、エストラジオール、エストリオール、17エチニルエストラジオール、エチニルテストステロン、エピアンドステロン、エピコプロスタノール、エピコレステノール、エピコレステロール、エルゴステノール、エルゴステロール、オイホース、 $\beta$ -オイデスマール、チオエルゴステロール、ノルアドレナリン、ノルエチステロン、ノルプソイドエフェドリン、バシシン、パラメタゾン、パントラクトン、ビスヒドロキシエチルテレフタート、ビスヒドロキシフェニルプロパン、ビスヒドロキシメチルベンゼン、ビスマチルフェニルメタノール、ヒドロキシアントラキノン、ヒドロキシアントロン、ヒドロキシアセトフェノン、ヒドロキシイミノニトロエタン、ヒドロキシイミノニトロプロパン、ヒドロキシキナルジン、ヒドロキシナフトアルデヒド、ヒドロキシナフトキノン、ヒドロキシピリジン、ヒドロキシヘキサナル、ヒドロキシベンジルアルコール、ヒドロキシメチルビロン、ヒドロキシベンゾトリアゾール、ヒドロキシベンゾフェノン、ヒドロキシメトキシシンナムアルデヒド、ヒドロコルチゾン、ナフタレンジオール、ビフェニオール、ピリドキサール、ピリドキシン、フェトロール、フェナシルアルコール、フェナントレンジオール、フェナントロー

ル、フェニルエタンジオール、エニルブチノール、フェニルフルオロン、フェニルプロパノール、フェネチルアルコール、フェノキシエタノール、フェノキシメタノール、フェノキシプロパノール、フェノキシブタノール、フェノキシベンタノール、フェノールフタレイン、フェルギノール、フシン、ブソイドエフェドリン、ブホゲニン、ブホタリン、ブホテニン、フルオレノール、フルフリルアルコール、フルプロガリン、ブレグネノロン、ブレトニゾロン、ブレドニゾン、プロロトベラトリジン、プロロトベリン、プロプラノール、ジヒドロカルコン、ヘキサメチロールメラニン、ヘキセストロール、ヘキソバルビタール、ベタメタゾンベツリン、ヘマトキシリン、ヘマテイン、ベンジルアルコール、ベンジルオキシエタノール、ベンズヒドロール、ベンゾイルレゾノール、ベンゾインオキシム、ベンゾキノンジオキシム、ベンゾヒドロキサム酸、ホモケドリニン、ホルムアルデヒドオキシム、マクルリン、マンデロニトリル、メタペバイノン、メチルアルソン酸、メチルエフェドリン、メチルカルボスチリル、メチルシクロヘキサノール、メチルシクロベンタノール、メチルテストステロン、メチルベンジルアルコール、メチレンジオキシベンジルアルコール、メバロノラクトン、メフェネシン、メンテンオール、メントール、ラウダニン、ラウダノシン、ラクトアルデヒド、ラクモイド、ラノステロール、ラバコ酸、ルチン、ルペオール、ルミステロール、ロシゾン酸、レダクチン酸、レチクリン、ロベリン、ロベラニジン、アンドロスタンジオール、アンドロステロン等が挙げられる。特に一般式IIにおけるR<sub>1</sub>がヒドロキシメチル基で、R<sub>2</sub>がβ-D-グルコースの1位のヒドロキシリル基とエーテル結合を成している2-ヒドロキシメチル-フェニル-β-D-グルコピラノシドを用いることが好ましい。

【0014】又、一般式Iで示される化合物と塩を形成する金属イオンとして、例えばLi、Na、K、Rb、Cs、Be、Mg、Ca、Sr、Ba、Mn、Fe、Cu、Co、Ni、Zn、Cr、Al、Mo、Ag等が挙げられ、特にNa塩であるサリチル酸ナトリウムを用いるのが好ましい。

【0015】本発明のサリチル酸又はその誘導体又はそれらの塩から選ばれる少なくとも1種以上の化合物、及び/又はサリチルアルコール又はその誘導体から選ばれる少なくとも1種以上の化合物は、メラニン生成促進剤として含有させることを主たる目的とする他、更に化粧料組成物へ含有できるが、その含有量としては特に規定するものではなく、メラニン生成促進剤又は化粧料組成物の種類、品質、期待される作用の程度によって若干異なり、通常、製剤全量中、0.0001~50重量%の濃度範囲で使用でき、特に0.001~10重量%の濃度範囲で用いることが有効である。

【0016】又、本発明のメラニン生成促進剤又は化粧料組成物の剤型は任意であり、カプセル、粉末、顆粒、

固体、液体、ゲル、気泡、乳液、クリーム、軟膏、シート等の形態で配合して用いることができる。

【0017】その利用分野は、例えば、各種の外用製剤類（動物用に使用する製剤も含む）全般において利用でき、具体的には、アンプル、カプセル、丸剤、錠剤、粉末、顆粒、固体、液体、ゲル、気泡、エマルジョン、シート、ミスト、スプレー剤等利用上の適当な形態の1)医薬品類、2)医薬部外品類、3)局所用又は全身用の皮膚用化粧品類（例えば、化粧水、乳液、クリーム、軟膏、ローション、オイル、パック等の基礎化粧料、洗顔料や皮膚洗浄料、マッサージ用剤、クレンジング用剤、除毛剤、脱毛剤、髭剃り処理料、アフターシェーブローション、プレショーブローション、シェービングクリーム、ファンデーション、頬紅、アイシャドウ、アイライナー、マスカラ等のメークアップ化粧料、パップ剤、プラスラー剤、テープ剤、シート剤、貼付剤、エアゾール剤等）、4)頭皮・頭髪に適用する薬用又は/及び化粧用の製剤類（例えば、シャンプー剤、リンス剤、ヘアートリートメント剤、プレヘアートリートメント剤、パーマメント液、染毛料、整髪料、ヘアートニック剤、育毛・養毛料、パップ剤、プラスラー剤、テープ剤、シート剤、貼付剤、エアゾール剤等）、5)浴湯に投じて使用する浴用剤、等が挙げられる。

【0018】尚、本発明のメラニン生成促進剤又は化粧料組成物への添加の方法については、予め加えておいても、製造途中で添加しても良く、作業性を考えて適宜選択すれば良い。

【0019】尚、本発明のメラニン生成促進剤又は化粧料組成物には、前記の必須成分に加え、更に下記に例示する保湿作用、細胞賦活作用/代謝活性化作用、抗酸化作用、活性酸素消去作用、紫外線防御作用、収斂作用、抗炎症作用、抗菌作用、血流促進作用/刺激作用、抗アンドロゲン作用、酵素（エラスター、コラゲナーゼ等）活性阻害作用、角質溶解作用等の作用を有する成分や添加剤、又はこれらの作用を複数発揮する植物系原料、動物系原料、微生物系原料、その他天然物原料等を由来とする抽出物や代謝物等、その他、メラニン生成促進剤又は化粧料組成物の形態を形成する上で使用が好まれる成分や添加剤等を任意に選択・併用することにより、メラニン生成促進作用に加え、更に多種の機能性を有する優れた化粧料組成物を提供できる。製剤中への含有量は、特に規定しないが、通常、0.0001~50重量%の濃度範囲が有効である。

#### 【0020】(1)保湿剤

酸化エチレン、エチレングリコール、ジエチレングリコール、トリエチレングリコール、エチレングリコールモノエチルエーテル、エチレングリコールモノブチルエーテル、ジエチレングリコールモノメチルエーテル、ジエチレングリコールモノエチルエーテル、ポリエチレングリコール、酸化プロピレン、プロピレングリコール、ボ

リプロビレングリコール、1,3-ブチレングリコール、ベンチルグリコール、グリセリン、ペンタエリトリトル、トレイトール、アラビトール、キシリトール、リビトール、ガラクチトール、ソルビトール、マンニトール、ラクチトール、マルチトール等の多価アルコール類、アラビアゴム、ベンゾインゴム、ダンマルゴム、グアヤク脂、アイルランド苔、カラヤゴム、トラガントゴム、キャロブゴム、クインシード、寒天、カゼイン、乳糖、果糖、ショ糖又はそのエステル、トレハロース又はその誘導体、デキストリン、ゼラチン、ペクチン、デンプン、カラギーナン、カルボキシメチルキチン又はキトサン、エチレンオキサイド等のアルキレン(C2～C4)オキサイドが付加されたヒドロキシアルキル(C2～C4)キチン又はキトサン、低分子キチン又はキトサン、キトサン塩、硫酸化キチン又はキトサン、リン酸化キチン又はキトサン、アルギン酸又はその塩、ヒアルロン酸又はその塩、コンドロイチン硫酸又はその塩、ヘパリン、エチルセルロース、メチルセルロース、カルボキシメチルセルロース、カルボキシエチルセルロース、カルボキシエチルセルロースナトリウム、ヒドロキシエチセルロース、ヒドロキシプロビルセルロース、ニトロセルロース、結晶セルロース、ポリビニルアルコール、ポリビニルメチルエーテル、ポリビニルピロリドン、ポリビニルメタクリレート、ポリアクリル酸塩、ポリエチレンオキサイドやポリプロビレンオキサイド等のポリアルキレンオキサイド又はその架橋重合物、カルボキシビニルポリマー、ポリエチレンイミン、デルマタン硫酸、ケラタン硫酸等の水溶性高分子類、ビロリドンカルボン酸又はその塩、乳酸ナトリウム、ミニササニシキエキス、納豆菌代謝物、納豆抽出エキス、ヘチマ水、シラカバ(白樺)又は赤松の樹液等。

#### 【0021】(2)細胞賦活作剤／代謝活性化剤

ビタミンA群：レチノール、レチナール(ビタミンA1)、デヒドロレチナール(ビタミンA2)、カロチン、リコピン(プロビタミンA)、ビタミンB群：チアミン塩酸塩、チアミン硫酸塩(ビタミンB1)、リボフラビン(ビタミンB2)、ビリドキシン(ビタミンB6)、シアノコバラミン(ビタミンB12)、葉酸類、ニコチニ酸類、パントテン酸類、ビオチン類、コリン、イノシトール類、ビタミンC群：ビタミンC酸又はその誘導体、ビタミンD群：エルゴカルシフェロール(ビタミンD2)、コレカルシフェロール(ビタミンD3)、ジヒドロタキステロール、ビタミンE群：ビタミンE又はその誘導体、ユビキノン類、ビタミンK群：フィトナジオン(ビタミンK1)、メナキノン(ビタミンK2)、メナジオン(ビタミンK3)、メナジオール(ビタミンK4)、その他、必須脂肪酸(ビタミンF)、カルニチン、フェルラ酸、γ-オリザノール、オロット酸、ビタミンP類(ルチン、エリオシトリン、ヘスペリジン)、ビタミンU等のビタミン類、バリン、ロイシ

ン、イソロイシン、トレオニン、メチオニン、フェニルアラニン、トリプトファン、リジン、グリシン、アラニン、アスパラギン、グルタミン、セリン、システイン、シスチン、チロシン、プロリン、ヒドロキシプロリン、アスパラギン酸、グルタミン酸、ヒドロキシリジン、アルギニン、オルニチン、ヒスチジン等や、それらの硫酸塩、リン酸塩、硝酸塩、クエン酸塩、或いはビロリドンカルボン酸の様なアミノ酸誘導体等のアミノ酸類、グリコール酸、クエン酸、リンゴ酸、酒石酸、乳酸、コハク酸等の $\alpha$ -ヒドロキシ酸類、感光素301号、ヒノキチオール、パントテン酸又はその誘導体、アラントイン、ペンタデカン酸グリセリド、リノレン酸又はその誘導体、エイコサペンタエン酸又はその誘導体、ドコサヘキサエン酸又はその誘導体、エストラジオール、エテニルエスタラジオール等、乳酸菌エキス、胎盤エキス、靈芝エキス、脾臟エキス、胸腺エキス、酵母エキス、発酵乳エキス、植物エキス(アロエ、オウゴン、スギナ、ゲンチアナ、ゴボウ、シコン、ニンジン、ハマメリス、ホップ、ヨクイニン、オドリコソウ、センブリ、トウキ、トウキンセンカ、アマチャ、オトギリソウ、キュウリ、タチジャコウソウ、ローズマリー、バセリ)等。

#### 【0022】(3)抗酸化剤

ビタミンC又はその塩、ステアリン酸エステル、ビタミンE又はその誘導体、ノルジヒドログラセレテン酸、ブチルヒドロキシトルエン(BHT)、ブチルヒドロキシアニソール(BHA)、ヒドロキシチロソール、パラヒドロキシアニソール、没食子酸プロビル、セサモール、セサモリン、ゴシポール、プロポリス、 $\beta$ -カロチン、植物エキス(ゴマ培養細胞、アマチャ、オトギリソウ、ハマメリス、チョウジ、メリッサ、エンメイソウ、シラカバ、サルビア、ローズマリー、南天実、エイジツ、イチョウ、緑茶)等。

#### 【0023】(4)活性酸素消去剤

SOD、カタラーゼ、グルタチオンパーオキシダーゼ、ビリルビン、クエルセチン、クエルシトリン、カテキン、カテキン誘導体、ルチン又はその誘導体、没食子酸又はその誘導体等。

#### 【0024】(5)紫外線防御剤

ベンゾフェノン誘導体(2-ヒドロキシ-4-メトキシベンゾフェノン、2-ヒドロキシ-4-メトキシベンゾフェノン-5-スルホン酸、2-ヒドロキシ-4-メトキシベンゾフェノン-5-スルホン酸ナトリウム、ジヒドロキシジメトキシベンゾフェノン、ジヒドロキシジメトキシベンゾフェノン-スルホン酸ナトリウム、2,4-ジヒドロキシベンゾフェノン、テトラヒドロキシベンゾフェノン等)、パラアミノ安息香酸誘導体(パラアミノ安息香酸、パラアミノ安息香酸エチル、パラアミノ安息香酸グリセリル、パラジメチルアミノ安息香酸アミル、パラジメチルアミノ安息香酸オクチル等)、メトキシ桂皮酸誘導体(パラメトキシ桂皮酸エチル、パラメトキシ桂皮酸イソプロピル、

パラメトキシ桂皮酸オクチル、パラメトキシ桂皮酸2-エトキシエチル、パラメトキシ桂皮酸ナトリウム、パラメトキシ桂皮酸カリウム、ジパラメトキシ桂皮酸モノ-2-エチルヘキサン酸グリセリル等)、アントラニル酸誘導体(アントラニル酸メチル等)、ウロカニン酸誘導体(ウロカニン酸、ウロカニン酸エチル等)、クマリン誘導体、アミノ酸系化合物、ベンゾトリアゾール誘導体、テトラゾール誘導体、イミダゾリン誘導体、ビリミジン誘導体、ジオキサン誘導体、カンファー誘導体、フラン誘導体、ピロン誘導体、核酸誘導体、アラントイン誘導体、ニコチン酸誘導体、ビタミンB6誘導体、ウンベリフェロン、エスクリン、桂皮酸ベンジル、シノキサート、オキシベンゾン、ジオキシベンゾン、オクタベンゾン、スリソベンゾン、ベンゾレソルシノール、アルブチン、グアイアズレン、シコニン、バイカリン、バイカレイン、ペルベリン、ネオヘリオパン、エスカロール、酸化亜鉛、タルク、カオリൻ等。

## 【0025】(6)収斂剤

コハク酸、アラントイン、塩化亜鉛、硫酸亜鉛、酸化亜鉛、カラミン、p-フェノールスルホン酸亜鉛、硫酸アルミニウムカリウム、レゾルシン、塩化第二鉄、タンニン酸(カテキン化合物を含む)等。

## 【0026】(7)抗炎症剤

イクタモール、インドメタシン、カオリン、塩酸ジフェニヒドラミン、d-カンフル、dl-カンフル、ヒドロコルチゾン、グアイアズレン、カマズレン、マレイン酸クロルフェニラミン、グリチルリチン酸又はその塩並びにそれらの誘導体、グリチルレチン酸又はその塩並びにそれらの誘導体、メフェナム酸、フェニルブタゾン、イブプロフェン、ケトプロフェン、アラントイン、パントテン酸カルシウム、パントテニルエチルエーテル等のパンテノール又はその誘導体並びにその塩、 $\epsilon$ -アミノカプロン酸、ジクロフェナクナトリウム、トラネキサム酸、甘草エキス、シコンエキス、エイジツエキス、プロポリス等。

## 【0027】(8)抗菌剤

アクリノール、イオウ、グルコン酸カルシウム、グルコン酸クロルヘキシジン、スルファミン、マーキュロクロム、ラクトフェリン又はその加水分解物、塩化アルキルジアミノエチルグリシン液、トリクロサン、次亜塩素酸ナトリウム、クロラミンT、サラシ粉、ヨウ素化合物、ヨードホルム、ソルビン酸又はその塩、プロピオン酸又はその塩、デヒドロ酢酸、バラヒドロキシ安息香酸エステル類、ウンデシレン酸、チアミンラウリル硫酸塩、チアミンラウリル硝酸塩、フェノール、クレゾール、p-クロロフェノール、p-クロロ-m-キシリノール、p-クロロ-m-クレゾール、チモール、フェネチルアルコール、o-フェニルフェノール、イルガサンCH3565、ハロカルバン、ヘキサクロロフェン、クロロヘキシジン、エタノール、メタノール、イソプロピルアルコール、ベンジルア

ルコール、エチレングリコール、プロピレングリコール、2-フェノキシエタノール、1,2-ベンタジオール、ジンクピリジオン、クロロブタノール、イソプロピルメチルフェノール、非イオン界面活性剤(ポリオキシエレンラウリルエーテル、ポリオキシエレンノニルフェニルエーテル、ポリオキシエレンオクチルフェニルエーテル等)、両性界面活性剤、アニオン界面活性剤(ラウリル硫酸ナトリウム、ラウロイルサルコシンカリウム等)、カチオン界面活性剤(臭化セチルトリメチルアンモニウム、塩化ベンザルコニウム、塩化ベンゼトニウム、塩化メチルロザニリン)、ホルムアルdehyド、ヘキサミン、ブリリアントグリーン、マラカイトグリーン、クリスタルバイオレット、ジャーマル、感光素101号、感光素201号、感光素401号、N-長鎖アシル塩基性アミノ酸誘導体及びその酸附加塩、酸化亜鉛、ヒノキチオール、クジン、プロポリス等。

## 【0028】(9)血流促進剤/刺激剤

ビタミンE又はその誘導体、セファランチン、塩化カルプロニウム、ミノキシジル、トウガラシチンキ、ノニル酸バニルアミド、カンタリスチンキ、ショウキョウチンキ、ハッカ油、l-メントール、カンフル、ニコチン酸ベンジル、シンナリジン、トラゾリン、アセチルコリン、ペラパミル、イクタモール、 $\alpha$ -ボルネオール、シクランデレート、ノニル酸ワレニルアミド、カプサイシン、ジンゲロン、センブリエキス、ニンニクエキス、人參エキス、アロエエキス、ゲンチアナエキス、トウキエキス等。

## 【0029】(10)抗アンドロゲン剤

卵胞ホルモン(エストロン、エストラジオール、エチニルエストラジオール等)、イソフラボン、オキセンドロン等。

## 【0030】(11)酵素(エラスターーゼ、コラゲナーゼ等)活性阻害剤

フルオロリン酸ジイソプロピル、植物エキス(オウゴン、オトギリソウ、クララ、桑の葉、ケイヒ、ゲンノショウコ、コンフリー、サルビア、セイヨウニワトコ、ボダイジュ、ボタンビ)、海藻エキス等。

## 【0031】(12)角質溶解剤

レゾルシン、乳酸、尿素、グアニジン、エタノールアミン等。

【0032】(13)植物系原料、動物系原料、微生物系原料、その他天然物原料由来の種々の成分又は添加物これらは、添加しようとする製品種別、形態に応じて常法的に行われる加工(例えば、粉碎、製粉、洗浄、加水分解、発酵、精製、圧搾、抽出、分画、ろ過、乾燥、粉末化、造粒、溶解、滅菌、pH調整、脱臭、脱色等を任意に選択、組合せた処理)を行い、各種の素材から任意に選択して供すれば良い。

【0033】尚、抽出に用いる溶媒については、供する製品の使用目的、種類、或いは後に行う加工処理等を考

慮した上で選択すれば良いが、通常では、水、メタノール、エタノール、プロピルアルコール、イソプロピルアルコール、ブタノール、イソブタノール等の低級アルコール或いは含水低級アルコール、プロピレングリコール、1,3-ブチレングリコール、グリセリン等の多価アルコール或いは含水多価アルコール、アセトン、酢酸エチル等の各種有機溶媒の中から選ばれる1種若しくは2種以上の混液を用いるのが望ましい。但し、用途により有機溶媒の含有が好ましくない場合においては、水のみを使用したり、あるいは抽出後に除去しやすいエタノールを採用し、単独又は水との任意の混液で用いたりすれば良く、又、搾取抽出したものでも良い。

【0034】原料とする具体的な植物(生葉)としては、例えば、アーモンド(へん桃)、アイ(藍葉)、アオカズラ(清風藤)、アオキ(青木)、アオギリ又はケナシアオギリ(梧桐)、アオツヅラフジ(木防己)、アオテンマ、アカシア、アカショウマ(赤升麻)、アカスグリ「果実」、アカツメクサ、アカブドウ、アカミノキ(ログウッド)、アカメガシワ(赤芽柏)、アカミノアカネ又はセイヨウアカネ又はアカネ(茜草根)、アカヤジオウ又はジオウ(地黃)、アギ(阿魏)、アキカラマツ、アキニレ(榔榆皮)、アグアイー・グアスー、アグアヘ(オオミテングヤシ)、アケビ(木通)、アサ(麻子仁)、マルバアサガオ又はアサガオ(牽牛子)、アシサイ(紫陽花)、アシタバ(明日葉)、アズキ(赤小豆)、アスナロ、アセロラ、アセンヤク(阿仙薬)、アチラ(ショクヨウカンナ)、アニス、アビウ、アビウラーナ、アブラナ、アベマキ「果実」、アボカド、アマ、アマチャ(甘茶)、アマチャヅル、アマドコロ(玉竹)、アマナ(光慈姑)、アマランサス(ヒユ、ハゲイトウ、ヒモゲイトウ、センニンコク、スキモリゲイトウ、ホソアオゲイトウ、アオゲイトウ、ハリビュ、アオスズラン、アマラントウス・ヒポコンドリアクス)、アミガサユリ又はバイモ(貝母)、アリストロメリア(ユリズイセン)、アルカナ(アルカンナ)、アルガローボ(キャベ)、アルテア、アルニカ、アルピニア又はカツマダイ(ソウズク)、アロエ(蘆薈)、アロエベラ、アンジェリカ、アンズ又はホンアンズ(杏仁)、アンソッコウ(安息香)、イエローサポテ、イガコウゾリナ(地胆頭)、イカリソウ又はヤチマタイカリソウ(インヨウカク)、イグサ(灯心草)、イタドリ(虎杖根)、イチイ(一位)、イチゴ、イチジク(無花果「果実、葉」)、イチハツ(一初)、イチビ(冬葵子)、イチヤクソウ(一葉草)、イチヨウ(銀杏「種子、葉」)、イトヒメハギ(遠志)、イナゴマメ、イヌナズナ(ティレキシ)、イヌビュ(ホナガイヌビュ)、イネ「種子、種皮」、イノンド「種子」、イブキジャコウソウ、イラクサ、イランイラン、イワタバコ(岩菖蒲)、イワヒバ又はイワマツ(巻柏)、ウーロン茶、ウイキョウ(茴香)、ウィート(チブサノキ)、ウキヤガラ(三稜)、ウグイスカグラ「果実」、ヒメウイキョウ、ウコン(鬱金)、ウキクサ(浮萍)、ウスバサイシン又はケイリンサ

イシン又はオウシュウサイシン(細辛)、ウスベニアオイ、ウスベニタチアオイ、ウチョウラン、ウツボグサ(夏枯草)、ウド又はシシウド(羌活、獨活、唐獨活)、ウニヤデガト(ウンカリア、キャツクロ)、ウバ茶、ウメ(烏梅「種子、果肉」)、ウラジロガシ、ウワウルシ(クサコケモモ)、ウンシュウミカン(陳皮)、ウンボク、エストラゴン、エゾウコギ(蝦夷五加)、エゾスズラン、エチナシ(ホソバムラサキバレンギク)、エニシダ、エノキタケ(榎茸)、エビスグサ又はカッシア・トーラ(決明子)、エルカンプレ、エルダーベリー「果実」、エレミ、エリンギ又はプレロータスエリンジ、エンジュ(槐花、槐花米)、オウギ又はキバナオウギ(黃耆)、ナルコユリ又はカギクルマバナルコユリ(黃精)、オウヒササノユキ又はササノユキ、オウレン(黃連)、オオガタホウケン、オオカラスウリ(カラコン)、オオグルマ(土木香)、オオツヅラフジ(防己)、オオバコ(車前子、車前草)、オオバナアザミ(祁州漏芦、白頭翁)、オオハシバミ(榛子)、オオハシラサボテン、オオバナオケラ又はオケラ(白朮)、オオバナサルスベリ(バナバ)、オオバヤシャブシ「果実」、オオホシグサ(穀精草)、オオミアカテツ、オオミサンザシ又はサンザシ(山查子)、オオムギ(大麦)、オカ、オカゼリ(蛇床子)、オクラ「果実」、オグルマ(旋覆)、オクルリヒゴタイ(禹州漏芦、藍刺頭)、オタネニンジン又はトチバニンジン(人參)、オトギリソウ又はコゴメバオトギリソウ又はセイヨウオトギリソウ(弟切草)、オドリコソウ(続断)、オナモミ(蒼耳子)、オニグルミ、オニドコロ又はトコロ又はナガドコロ(ヒカイ)、オニノヤガラ(天麻)、オニユリ又はササユリ又はハカタユリ(百合)、オノエラン、オノニス、オヒョウ(裂葉榆)、オミナエシ(敗醬)、オユーコ、オランダカラシ(ケレソン)、オランダゼリ、オランダビュ、オランダミツバ、オリーブ「果実、種子、葉」、オレガノ、オレンジ「果実、果皮」、カイケイジオウ(熟地黃)、カカオ「果実、果皮、種子」、カキ(柿蒂「葉」)、カギカズラ(釣藤鉤)、カキドオシ又はカントリソウ(蓮錢草)、カキラン、ガクアジサイ、カシア、カジノキ(楮實「果實」)、ガジュツ(莪朶)、カシワ(槲樹、槲葉)、カスカリラ、カスカラサグラダ、カスミソウ、カセンソウ、カニクサ(金沙藤)、カニーワ、カーネーション、カノコソウ(吉草根)、カバ、カバノキ又はシダレカンバ(白樺)、ガーベラ、カボチャ、カボックノキ「種子」、カホクサンショウ(蜀椒)、ガマ(蒲黃)、カミツレ又はローマカミツレ、カミヤツデ(通草)、カムカム(カモカモ)、カラ一、カラクサケマン、カラスウリ又はシナカラスウリ(王瓜)、カラスピシャク(半夏)、カラスマギ、ガラナ「種子」、カラホオ(厚朴)、カラヤ、ガリュウ、カリン(木瓜)、ガルシニア、カワミドリ、カワラサイコ(委陵菜、翻白草)、カワヂシャ、カワラタケ、カワラナデシコ(石竹)又はエゾカワラナデシコ(瞿麥、瞿麦子)、カワラニンジン(青蒿)、カワラヨモギ(茵チン蒿)、カンスイ

(甘遂)、カンゾウ(甘草)、カンタラアサ、カンデリラ、カントウ、カンナ、カンラン、キイチゴ(エゾイチゴ)、オランダイチゴ、エビガライチゴ、ナワシロイチゴ、モミジイチゴ、ヨーロッパキイチゴ)、キウイ「果実、葉」、キカラスウリ(瓜呂根)、キキョウ(桔梗、桔梗根)、キク(菊花、シマカンギク、チョウセンノギク)、キクタニギク、キササゲ(梓実)、ギシギシ(羊蹄根)、キジツ(枳実)、キズタ、キダチアロエ、キダチハッカ、キナ、キナノキ(シンコーナ、アカキナノキ)、キヌア(キノア)、キハダ(黄柏)、ギムネマ・シルベスタ、キメンカク、キャベツ、キャベブ「未熟果」、キャラウェー、キュウリ、ギヨリュウ(西河柳、てい柳)、キラジャ・サボナリア、キラヤ、キランソウ(金瘡小草)、キンカン「果実」、ギンセカイ、キンブセン、キンマ、キンミズヒキ(仙鶴草)、キンラン、ギンラン、キンリョウヘン、グアペーバ・ヴェルメーリヤ、グアバ「果実」、グアユーレ、クエルクス・インフェクトリア(没食子)、ククイナツ、クゲヌマラン、クコ(枸杞、枸杞子、枸杞葉、地骨皮)、クサスキカズラ(天門冬)、クズ(葛根)、クスノキ、グースベリー「果実」、クソニンジン(黃花蒿)、クティティリバー、クチナシ(山梔子)、クヌギ(樅ソウ)、クブアス、クベバ、クマザサ、クマツヅラ(馬鞭草)、クララ(苦参)、クランベリー「果実」、クリ「種子、果実、渋皮」、クルクリゴ・ラチフォリア「果実」、グレープフルーツ「果実・葉」、クロウメモドキ、クロガネモチ(救必応)、カメバヒキオコシ又はクロバナヒキオコシ又はヒキオコシ(延命草)、クロープ(丁子、丁香)、グンバイナズナ(セキメイ、セキメイシ)、ケイガイ(荊芥、荊芥穂)、ケイトウ(鶏冠花、鶏冠子)、ゲッカビジン、ゲッケイジュ(月桂樹)、ケナシサルトリイバラ(土茯苓、山帰来)、ゲンチアナ、ゲンノショウコ(老鸛草)、ケンポナシ(キグシ)、コウキセッコク、キシユウミカン(コウジ、タチバナ、オオベニミカン、フクレミカン、サガミコウジ、ポンカン、サンタラ(橘皮))、コウシンバラ(月季花)、コウスイハッカ、コウゾ「果実」、コウチャ(紅茶)、コウホネ(川骨)、コウホン(藁本、唐藁本)、コウリヤン、コウリョウキヨウ(高良姜)、コエンドロ「果実」、コオウレン(胡黃連)、コガネバナ(黄ゴン)、コケモモ(越橘)、ココヤシ「果実」、ゴシュユ(吳茱萸)、ゴショイチゴ(覆盆子)、コショウ(胡椒)、コスマス、コパイババサム、コーヒー「種子、葉」、コブシ又はモクレン(辛夷)、ゴボウ(牛蒡、牛蒡子)、コボタンヅル、ゴマ(胡麻)、ゴマノハグサ(玄参)、ゴミシ(五味子)、サネカズラ又はピナンカズラ又はマツブサ、コムギ(小麦)、米又は米糠「赤糠、白糠」、コメ油、コーラ・アクミナタ「種子」、コーラ・ベラ「種子」、コロニーリヤ、コロハ「果実」、コロンボ、コンズランゴ、コンブ、コンニャク、コンフリー(鮚張草)、サイザル(サイザルアサ)、サイハイラン、サカネラン(エゾサカネラン)、サキシマボタンヅル又はシ

ナボタンヅル又はシナセンニンソウ(威靈仙)、サクラ(オオシマザクラ、ヤマザクラ、オオヤマザクラ、エドヒガシ、マメザクラ、ミヤマザクラ、ソメイヨシノ、タカネザクラ、カスミザクラ、コヒガン、サトザクラ、カンザクラ「葉、花、果実、樹皮(桜皮)」)、サクランボ、ザクロ、ササ、ササバギンラン、サザンカ、サジオモダカ(沢瀉)、サツマイモ、サトウキビ、サトウダイコン、サネプトナツメ(酸棗仁)、サフラン(番紅花、西紅花)、サボジラ、サボテアマリヨ、ザボン「果実」、サボンソウ、サーモンベリー「果実」、サラシナショウマ(升麻)、サランシトウ(砂藍刺頭)、サルビア(セージ)、サワギキョウ(山梗菜)、サワグルミ(山胡桃)、サンカクサボテン、サングレデグラード(クロトン)、サンシクヨウソウ、サンシチニンジン(三七人参)、サンシュユ(山茱萸)、サンショウ(山椒)、サンズコン(山豆根)、シア(カリテ)、シアノキ「果実」、シイタケ(椎茸)、シオン(紫苑)、ジキタリス、シクンシ(使君子)、シソ又はオジソ又はチリメンジソ又はカタメンジソ(紫蘇葉、紫蘇子)、シタン、シナノキ、シナホオノキ、シナレンギヨウ(連翹)、シメジ(ヒンシメジ、シャカシメジ、ハタケシメジ、オシロイシメジ、ブナシメジ、ホンジメシ、シロタモギタケ)、シモクレン(辛夷)、シモツケソウ、ジャガイモ、シャクヤク(芍藥)、シャジン(沙參)、ジャスミン(マツリカ)、ジャノヒゲ(麦門冬)、シュクコンカスミソウ、シュクシャミツ(砂仁、縮砂)、ジュズダマ、シュロ「果実」、シュンラン、ショウガ(生姜)、ジョウザンアジサイ(常山)、ショウウブ(菖蒲、菖蒲根)、ショズク「果実」、シラカシ「種子」、シラン(ビヤッキュウ)、シロゴチョウ「種子」、シロツメクサ(クローバー)、シロトウアズキ(鶏骨草)、シロバナリス(ニオイリス)、シロバナツタ「花」、シロミナンテン(南天実)、シンコナサクシルブラ、ジンチョウゲ(瑞香、瑞香花、沈丁花)、シンナモン、シンナモムム・カッシア(桂皮)、スイカ(西瓜)、スイカズラ(金銀花、忍冬)、スイバ(酸模)、スイムベリー「果実」、スターアップル、ステビア、ストロベリー「果実」、スズサイコ(徐長卿)、スギナ(問荆)、スペリヒユ(馬齒けん、馬齒けん子)、スマモ「果実」、スルガラン(オラン)、セイヨウアカマツ「球果」、セイヨウカラマツ、セイヨウキズタ、セイヨウグルミ、セイヨウサンザシ、セイヨウスノキ、セイヨウタンポポ、セイヨウトチノキ(マロニエ)、セイヨウナシ「果実」、セイヨウナツユキソウ、セイヨウニワトコ(エルダー)、セイヨウネズ(ジュニパー、杜松)、セイヨウノコギリソウ(ミルフォイル)、セイヨウバラ、セイヨウウフウチョウボク、セイヨウヤドリギ、セイヨウハッカ又はセイヨウヤマハッカ、セイヨウウワサビ、セキショウ(石菖根)、セッコク(サクラセッコク、コウキセッコク、オオバナセッコク、オキナワセッコク、ホンセッコク、コチョウセッコク、シカクセッコク、キバナノセッコク)(デンドロビウム、石斛)、セド

ロン(ボウシュウボク)、ゼニアオイ、ヒロハセネガ、セネガ、セリ、セロリ、センキュウ(川キュウ)、センシンレン(穿心蓮)、センダン、センニンサボテン、センナ「果実、葉」、センニンソウ(大蓼)、センブリ(当薬)、センボク、ソウカ(草果)、ソウゲチュウ、ソシンロウバイ、ソバ「種実」、ソメモノイモ、ダイオウ(大黃)、大根、大豆、ダイダイ(橙皮、枳実)、タカサゴルリヒゴタイ(東南藍刺頭)、タカサゴロウ(旱蓮草)、タカトウダイ(大戟)、タカワラビ(狗脊)、ダークスイートチェリー「果実」、タチアオイ、タチジャコウソウ(タイム、百里香)、タチドコロ(ヒカイ)、タチヤナギ、タマリンド「種子」、タマネギ、タムシバ(辛夷)、タラノキ「果実、葉、根皮」、タラヨウ(大葉冬青、一葉茶、苦丁茶、苦灯茶)、グリア(テンジクボタン)、タルウィ、タンシウチワ、タンジン(丹参)、タンポポ(蒲公英)又はシロバナタンポポ又はモウコタンポポ、ダンマル、チェリー「果実」、チガヤ「果実、根、芽」、チクセツニンジン(竹節人参)、チコリ、チャンカピエドラ(キダチコミカンソウ)、チューリップ、チョコノステイ、チョウセンドライオウ(大黄)、チョウセンニレ(蕪夷)、チョウセンヨモギ(艾葉)、チョレイマイタケ(猪苓)、チョロギ、ツキミソウ、ツクシサカネラン、ツクリタケ(マッシュルーム)、ツチアケビ、ツバキ、ツボクサ、ツメクサ(漆姑草)、ツユクサ(鶴跖草)、ツルアズキ(赤小豆)、ツルツチアケビ、ツルドクダミ(何首烏)、ツルナ(蕃杏)、ツルニンジン(四葉參)、ツワブキ、ディコ、テウチグルミ、デュベリー「果実」、テングサ、テンチャ(甜茶)、テンダイウヤク(烏藥)、トウガ(冬瓜子)、トウカギカズラ、トウガラシ(番椒)、トウキ(当帰)、トウキンセンカ(マリーゴールド)、トウナベナ(川断)、トウモロコシ又はトウモロコシ毛(南蛮毛)、トウネズミモチ(女貞子)、トウリンドウ又はチョウセンリンドウ(竜胆)、トクサ(木賊)、ドクダミ(十葉)、トコン(吐根)、トシシ又はマメダオシ又はネナシカズラ、トチュウ(杜仲「樹皮、葉、根」)、トネリコ(秦皮)、トマト、トラガント、トリアカンソス「種子」、トルコキキョウ、トルメンチラ、ドロノキ、トロロアオイ、トンカマメ、ナイゼリアベリー「果実」、ナガイモ又はヤマノイモ(山藥)、ナギイカダ(ブッチャーブルーム)、ナギナタコウジュ、ナズナ、ナタネ、ナタマメ又はタテハキ(刀豆)、ナツミカン、ナツメ(大棗)、ナニワイバラ(金桜子)、ナベナ(続断)、ナメコ、ナンキンマメ(落花生)、ナンテン(南天実)、ナンバンカラムシ(苧麻)、ニオイスミレ、ニガキ(苦木)、ニガヨモギ(苦艾)、ニクズク、ケイ又はニッケイ又はセイロニンニッケイ又はヤブニンニッケイ(桂皮)又はケイシ(桂枝)、ニヨホウチドリ、ニラ(韭子)、ニワトコ(接骨木「果実、花、茎、葉」)、ニンニク(大蒜)、ヌルデ(五倍子)、ネギ、ネムノキ又はネブ又はネビ又はネムリノキ又はジゴクバナ(合歡)、ノアザミ(大薊)、ノイバラ(當実)、ノウゼンカズラ(凌霄花)、ノゲイトウ、ノコギリ

ソウ、ノダケ(前胡)、ノバラ、ノモモ、パイナップル「果実」、ハイビスカス(ブッソウゲ、フウリンブッソウゲ、ローゼル)、ハイリンドウ、ハウチワ、パウ・ドーセ、ハカマウラボシ(骨碎補)、ハクカユマトウ、ハクサンチドリ、ハクセン(白蘚皮)、ハクルベリー「果実」、ハコベ(繁縷)、ハシバミ(榛子)、ハシリドコロ(ロート根)、バジル、ハス(蓮、蓮肉、蓮子)、パセリ(オランダゼリ)、ハダカムギ、バタタ、ハチク又はマダケ(竹茹)、パチョリー、ハッカ(薄荷、薄荷葉)、ハトムギ(ヨクイニン)、ハナスゲ(知母)、バナナ、ハナハッカ、ハナビシ(シツリシ、シシツリ)、バニラビンズ、パパイヤ、ハハコグサ(鼠麄草)、バハロボボ、ハブ「全草、茎、葉」、パプリカ、ハマカキラン、ハマゴウ又はミツバハマゴウ(蔓茄子)、ハマスゲ(香附子)、ハマビシ(シツ莉子)、ハマナス(マイカイ花)、ハマボウフウ(浜防風)、ハマメリス、パーク、バラ(薔薇)、バラータ、バラタゴムノキ、ハラタケ(ハラタケ、シロオオハラタケ、ウスキモリノカサ)、ハラン、パリウルス(セイヨウハナツメ)、パリエタリア、ハルカンラン、バルサミニーナ(ツルレイシ、ニガウリ)、ハルニレ(榆皮、榆白皮、榆葉)、バルバスコ、ハルリンドウ、ハンダイカイ(胖大海)、パンノキ、ヒオウギ(射干)、ヒカゲツルニンジン(党参)、ピーカンナツツ、ヒガンバナ(石蒜、蔓珠沙華)、ヒグルマダリア、ヒゴタイ、ヒシ(菱実)、ピスタチオ、ピート、ヒトツバ(石葦)、ヒトツバエニシダ、ヒナギク(デージー)、ヒナタイノコズチ(牛膝)、ヒナチヨドリ、ヒノキ、ヒバ、ヒマシ、ヒマワリ、ピーマン、ヒメウズ(天葵)、ヒメガマ(香蒲)、ヒメマツタケ(カワリハラタケ、ヒロマツタケ)、ヒメムヨウラン、ピメンタ「果実」、ビャクシ、ビャックキュウ、ヒユ「果実」、ビロウドアオイ、ヒロハオキナグサ(白頭翁)、ビワ「果実、葉、茎」、ピンロウ(大腹皮、檳榔子)、プーアル茶(普?茶)、フウトウカズラ(南藤)、フキ、フキタンボポ(款冬花、款冬葉)、フジバカマ(蘭草)、フジマメ(扁豆)、フジモドキ(チョウジザクラ、芫花)、ブドウ「果実、果皮、種子、葉」、ブナ、フユムシナツクサタケ(冬虫夏草)、ブラジルカンゾウ、ブラジルニンジン、ブラックカーラント「果実」、ブラックベリー、ブランエン、プラム「果実」、フルセラリア、ブルーベリー(セイヨウヒメスノキ)、ブルーン、フローラルブランカ、ブロンドサイリウム、ブンドウ(綠豆)、ヘーゼルナッツ、ヘチマ、ヘツカラ、ベニバナ(紅花)、ヘネケン、ペラドンナ、ベリー「果実」、ペルセア、ペルビアンバーグ、ペレスキア・グランディフォリア、ベンケイソウ又はイキクサ(景天)、ボイセンベリー「果実」、ホウキギ又はニワクサ又はネンドウ又はハハキギ・コキア(地膚子)、ホウサイラン、ホウセンカ(鳳仙、急性子、透骨草)、ボウテリア・サボタ、ボウテリア・ルクマ、ホウノキ、ボウフウ(防風)、ホウレンソウ、ホオズキ(登呂根)、ホオノキ(和厚朴、朴)、ボケ(木瓜)、ホソバ

アブラギク(苦ヨク)、ホソバオグルマ、ホソバナオケラ(蒼朾)、ホソバノキリンソウ(景天三七)、ホソババレンギク、ボダイジュ(菩醍樹)、ボタン(牡丹「花、葉、茎、樹皮」)、ボタンビ(牡丹皮)、ホップ、ホホバ、ボリジ(ルリチシャ)、ポルドー、ホワートルベリー「果実」、ホンオニク(肉じゅ蓉、大芸)、ホンセッコク(鉄皮石斛、雀山石斛)、マイズルテンナンショウ(天南星)、マイタケ(舞茸)、マオウ(麻黃)、マカ、マカデミアナツ、マーガレット(モクシュンギク)、マクリ(海人草)、マグワ(桑白皮「樹皮、葉」)、マグノリア・スブレンゲリ、マサランヅーバ、マサランズーバ・ド・セアラー、マシェイラ・デ・ポイ、マシュア(タマノウゼンハレン、キュウコンキンレンカ)、マタタビ(木天蓼)、マツカサ、松「葉、樹皮、根」、マッタ・オーリヨ、マツホド(茯苓)、マティコ(コルドンシージョ)、マヨラム(ハナハッカ)、マルバノジャジン(苦參)、マルベリー「果実」、マルメロ、マレイン(ピロウドモウズイカ)、マンゴー、マンゴスチン、マンサニーヤ(アンデスカミツレ)、マンシュウグルミ、マンダリン「果実」、マンネンタケ(靈芝)、キジツ(枳実「果実」)、ミシマサイコ(柴胡)、ミズオオバコ又はミズアサガオ(竜舌草)、ミゾカクシ(半邊蓮)、ミソハギ(千屈菜)、ミチヤナギ又はニワヤナギ(篇蓄)、ミツガシワ、ミツバ、ミドリサボテ、ミドリハッカ、ミモザ、ミョウガ、ミラクルフルーツ「果実」、ミルラ、ミロバラン、ムギワラギク、ムクゲ(木槿)、ムクノキ、ムクロジ(延命皮)、ムニヤ、ムラサキ(紫根)、ムラサキシキブ又はオオムラサキシキブ(紫珠)、ムラサキトウモロコシ、ムラサキナツフジ(昆明鶴血藤)、メガカンサ・オプンティカ、メハジキ(益母草)、メボウギ、メラロイカ、メリッサ、メリロート、メロン「果実」、モウヨモギ、モウソウチク、モクarin、モジエ(コショウボク)、モチノキ、モッコウ(木香)、モミジバダイオウ、モモ(桃「葉、種子、花、果実」)、モヤシ、モレロチェリー「果実」、モロヘイヤ(黄麻)、ヤカワムラサキイモ、ヤクチ(益智)、ヤグルマソウ(ヤグルマギク)、ヤグルマハッカ、ヤーコン、ヤシヤブシ(矢車)又はヒメヤシャブシ又はオオバヤシャブシ「果実、果皮、果穂」、ヤチヤナギ、ヤツデ(八角金盤)、ヤドリギ(柳寄生)、ヤナギ(カワヤナギ、タチヤナギ、シダレヤナギ、アカメヤナギ、ネコヤナギ、イヌコリヤナギ、キヌヤナギ、コリヤナギ、ウンリュウヤナギ、ミヤマヤナギ、ヤシ、ヤマヤナギ、オオバヤナギ、タイラクキヌヤナギ、キツネヤナギ、ドロノキ)、ヤナギタデ「葉、茎」、ヤブガラシ、ヤブコウジ(紫金牛)、ヤブタバコ(鶴虱、天名精)、ヤマゴボウ(商陸)、ヤマハンノキ(山櫟)、ヤマモモ(楊梅皮)、ヤマヨモギ、ユカリ、ユキノシタ(虎耳草)、ユッカ又はフレビフォリア、ユズ「果実」、ユリ、ヨロイグサ、ヨモギ(艾葉)、ライガン(雷丸)、ライム「果実」、ライムギ、ラカンカ「果実」、ラズベリー「葉、果実」、ラタニア(クラメ

リア)、ラッキョウ又はエシャロット(薑白)、ラベンダー、リュウガン(竜眼肉)、リュウゼツラン(アオノリュウゼツラン、フクリンリュウゼツラン)、リョクチャ(綠茶)、リンゴ「果実、種子、葉、根」、リンドウ、ルバス又はスアビシムス(甜涼)、ルリタマアザミ(ウラジロヒゴタイ、新疆藍刺頭)、レイシ(荔枝、荔枝核)、レタス(チシャ)、レッドカラント「果実」、レッドピタヤ、レモン「果実」、レモングラス、レンギョウ又はシナレンギョウ(連翹)、レンゲソウ、ロウバイ(蠟梅)、ロ

10 ウヤシ、ロコン(ヨシ、蘆根)、ローガンベリー「果実」、ローズマリー(マンネンロウ)、ローズヒップ(ノバラ)、ワサビ、ワタフジウツギ(密蒙花)、ワレモコウ(地榆)等が挙げられる。

【0035】海藻類としては、海藻〔緑藻類：クロレラ・ブルガリス、クロレラ・ピレノイドサ、クロレラ・エリプソイディア、アオノリ(ウスバアオノリ、スジアオノリ、ヒラアオノリ、ボウアオノリ、ホソエダアオノリ)、アナアオサ(アオサ)〕、海藻〔褐藻類：コンブ(マコンブ、リシリコンブ、ホソメコンブ、ミツイシコンブ)、ワカメ、ヒロメ、アオワカメ、ジャイアントケルプ(マクロシスティス・ピリフェラ、マクロシスティス・インテグリフォリア、ネオシティス・ルエトケーナ)、ヒジキ、ヒバマタ、ウミウチワ、ウスバウミウチワ、キレバノウミウチワ、アカバウミウチワ、コナウミウチワ、オキナウチワ、ウスユキウチワ、エツキウミウチワ〕、海藻〔紅藻類：ヒジリメン、マクサ(テングサ)、ヒラクサ、オニクサ、オバクサ、カタオバクサ、ヤタベグサ、ユイキリ、シマテングサ、トサカノリ、トゲキリンサイ、アマクサキリンサイ、キリンサイ、ビヤ

20 クシンキリンサイ、ツノマタ、オオバツノマタ、トチャカ(ヤハズツノマタ)、エゾツノマタ、トゲツノマタ、ヒラコトジ、コトジツノマタ、イボツノマタ、マルバツノマタ、ヒラコトジ、スキノリ、シキンノリ、カイノリ、ヤレウスバノリ、カギウスバノリ、スジウスバノリ、ハイウスバノリ、アカモミジノリ〕等が代表的なものとして挙げられる。

【0036】又、その他の藻類、例えば、緑藻類(クラミドモナス属：クラミドモナス、アカユキモ、ドゥナリエラ属：ドゥナリエラ、クロロコッカス属：クロロコッカス、クワノミモ属：クワノミモ、ボルボックス属：オオヒゲマワリ、ボルボックス、パルメラ属、ヨツメモ属、アオミドロ属：ヒザオリ、アオミドロ、ツルギミドロ属、ヒビミドロ属：ヒビミドロ、アオサ属：アナアオサ、アミアオサ、ナガアオサ、カワノリ属：カワノリ、フリッヂエラ属、シオグサ属：オオシオグサ、アサミドリシオグサ、カワシオグサ、マリモ、バロニア属：タマゴバロニア、タマバロニア、マガタマモ属：マガタマモ、イワヅタ属：フサイワヅタ、スリコギヅタ、ヘライワヅタ、クロキヅタ、ハネモ属、ミル属：ミル、クロミル、サキブチミル、ナガミル、ヒラミル、カサノリ属：

50

カサノリ、ジュズモ属：フトジュズモ、タマジュズモ、ミゾジュズモ、ミカツキモ属、コレカエテ属、ツヅミモ属、キッコウグサ属：キッコウグサ、ヒトエグサ属：ヒトエグサ、ヒロハノヒトエグサ、ウスヒトエグサ、モツキヒトエ、サヤミドロ属、クンショウモ属、スミレモ属：スミレモ、ホシミドロ属、フシナシミドロ属等)。

【0037】藍藻類(スイゼンジノリ属：スイゼンジノリ、アオコ属、ネンジュモ属：カワタケ、イシクラゲ、ハッサイ、ユレモ属、ラセンモ(スピルリナ)属：スピルリナ、トリコデスミウム(アイアカシオ)属等)。

【0038】褐藻類(ピラエラ属：ピラエラ、シオミドロ属：ナガミシオミドロ、イソブドウ属：イソブドウ、イソガワラ属：イソガワラ、クロガシラ属：グンセンクロガシラ、カシラザキ属：カシラザキ、ムチモ属：ムチモ、ヒラムチモ、ケベリグサ、アミジグサ属：アミジグサ、サキビロアミジ、サナダグサ属：サナダグサ、フクリンアミジ、コモングサ属：コモングサ、ヤハズグサ属：エゾヤハズ、ヤハズグサ、ウラボシヤハズ、ジガミグサ属：ジガミグサ、ウミウチワ属：ウミウチワ、コナウミウチワ、アカバウミウチワ、ナミマクラ属：ヒルナミマクラ、ソメワケグサ属：ソメワケグサ、ナバリモ属：ナバリモ、チャソウメン属：モツキチャソウメン、マツモ属：マツモ、ナガマツモ属：ナガマツモ、オキナワモズク属：オキナワモズク、ニセフトモズク属：ニセフトモズク、フトモズク属：フトモズク、イシモズク属：イシモズク、クロモ属：クロモ、ニセモズク属：ニセモズク、モズク属：モズク、イシゲ属：イシゲ、イロ口、イチメガサ属：イチメガサ、ケヤリ属：ケヤリ、ウミボッス属：ウミボッス、ウルシグサ属：ウルシグサ、ケウルシグサ、タバコグサ、コンブモドキ属：コンブモドキ、ハバモドキ属：ハバモドキ、ハバノリ属：ハバノリ、セイヨウハバノリ属：セイヨウハバノリ、コモンブクロ属：コモンブクロ、エゾブクロ属：エゾブクロ、フクロノリ属：フクロノリ、ワタモ、チシマフクロノリ属：チシマフクロノリ、カゴメノリ属：カゴメノリ、ムラリドリ属：ムラチドリ、サメズグサ属：サメズグサ、イワヒゲ属：イワヒゲ、ヨコジマノリ属：ヨコジマノリ、カヤモノリ属：カヤモノリ、ウイキョウモ属：ウイキョウモ、ツルモ属：ツルモ、アナメ属：アナメ、スジメ属：スジメ、ミスジコンブ属：ミスジコンブ、アツバミスジコンブ、コンブ属：ガツガラコンブ、カキジマコンブ、オニコンブ、ゴヘイコンブ、ナガコンブ、エンドウコンブ、オオチヂミコンブ、トロロコンブ属：トロロコンブ、アントクメ属：アントクメ、カジメ属：カジメ、ツルアラメ、クロメ、キクイシコンブ属：キクイシコンブ、ネジレコンブ属：ネジレコンブ、クロシオメ属：クロシオメ、ネコアシコンブ属：ネコアシコンブ、アラメ属：アラメ、アイヌワカメ属：アイヌワカメ、チガイソ、オニワカメエゾイシゲ属：エゾイシゲ、ヤバネモク属：ヤバネモク、ラッパモク属：ラッパモク、ジョ

ロモク属：ウガノモク、ジョロモク、ヒエモク、ホンダワラ属：タマナシモク、イソモク、ナガシマモク、アカモク、シダモク、ホンダワラ、ネジモク、ナラサモ、マメタワラ、タツクリ、ヤツマタモク、ウミトラノオ、オオバモク、フシズシモク、ハハキモク、トゲモク、ヨレモク、ノコギリモク、オオバノコギリモク、スギモク属：スギモク、ウキモ属：オオウキモ、ブルウキモ属：ブルウキモ、カヤモノリ属：カヤモノリ等)。

【0039】紅藻類(ウシケノリ属：ウシケノリ、フノ

10 リノウシケ、アマノリ属：アサクサノリ、スサビノリ、ウップルイノリ、オニアマノリ、タサ、フイリタサ、ベニタサ、ロドコルトン属：ミルノベニ、アケボノモズク属：アケボノモズク、コナハダ属：ハイコナハダ、ヨゴレコナハダ、アオコナハダ、ウミゾウメン属：ウミゾウメン、ツクモノリ、カモガシラノリ、ベニモズク属：ベニモズク、ホソベニモズク、カサマツ属：カサマツ、フサノリ属：フサノリ、ニセフサノリ属：ニセフサノリ、ソデガラミ属：ソデガラミ、ガラガラ属：ガラガラ、ヒラガラガラ、ヒロハタマイタダキ属：ヒロハタマイタダキ、タマイタダキ属：タマイタダキ、カギケノリ属：カギノリ、カギケノリ、テングサ属：ヒメテングサ、ハイテングサ、オオブサ、ナンブグサ、コヒラ、ヨヒラ、キヌクサ、ヒビロウド属：ヒビロウド、ヒメヒビロウド、イソムメモドキ属：イソムメモドキ、ミチガエソウ属：ミチガエソウ、リュウモンソウ属：リュウモンソウ、ヘラリュウモン、ニセカレキグサ属：ニセカレキグサ、オキツバラ属：オオバオキツバラ、アカバ属：アカバ、マルバアカバ、ナミノハナ属：ホソバナミノハナ、ナミノハナ、サンゴモドキ属：ガラガラモドキ、シオグサゴロモ属：シオグサゴロモ、イワノカワ属：エツキイワノカワ、カイノカワ属：カイノカワ、カニノテ属：カニノテ、サンゴモ属：サンゴモ、ムカデノリ属：ムカデノリ、スジムカデ、カタノリ、ヒラムカデ、キヨウノヒモ、サクラノリ、ニクムカデ、タンバノリ、ツルツル、フダラク、マルバフダラク、イソノハナ属：ヌラクサ、クロヌラクサ、オオムカデノリ、ヒラキントキ属：ヒラキントキ、マタボウ属：マタボウ、キントキ属：チャボキントキ、キントキ、マツノリ、コメノリ、トサカマツ、ヒトツマツ、フシキントキ、ツノムカデ、ナガキントキ、スジムカデ、カクレイト属：オオバキントキ、イトノリ属：イトノリ、ナガオバネ属：ナガオバネ、フノリ属：ハナフノリ、フクロフノリ、マフノリ、カレキグサ属：カレキグサ、トサカモドキ属：ホソバノトサカモドキ、ヒロハノトサカモドキ、ヤツデガタトサカモドキ、クロトサカモドキ、ネザシノトサカモドキ、ユウソラ、エツキノトサカモドキ、キヌハダ属：キヌハダ、エゾトサカ属：エゾトサカ、ツカサノリ属：エナシカリメニア、オオツカサノリ、ハナガタカリメニア、ホウノオ属：ホウノオ、ヒカゲノイト属：ヒカゲノイト、ウスギヌ、ニク

ホウノオ属：ニクホウノオ、ベニスナゴ属：ベニスナゴ、ススカケベニ属：ススカケベニ、オカムラグサ属：ヤマダグサ、ミリン属：ミリン、ホソバミリン、トサカノリ属：キクトサカ、エゾナメシ属：エゾナメシ、イソモッカ属：イソモッカ、ユカリ属：ユカリ、ホソユカリ、イバラノリ属：イバラノリ、サイダイバラ、タチイバラ、カギイバラノリ、キジノオ属：キジノオ、イソダンツウ属：イソダンツウ、アツバノリ属：アツバノリ、オゴノリ属：オゴノリ、ツルシラモ、シラモ、オオオゴノリ、ミゾオコノリ、カバノリ、ベニオゴノリ、フクレシノリ、ムラサキカバノリ、シンカイカバノリ、トゲカバノリ、カタオゴノリ、リュウキュウオゴノリ、セイヨウオゴノリ、イツツギヌ、ユミガタオゴノリ、クビレオゴノリ、モサオゴノリ、キヌカバノリ、テングサモドキ属：ハチジョウテングサモドキ、フシクレノリ属：フシクレノリ、ナミイワタケ属：ナミイワタケ、カイメンソウ属：カイメンソウ、オキツノリ属：オキツノリ、サイミ属：イタニグサ、サイミ、ハリガネ、ハスジグサ属：ハスジグサ、スキノリ属：イカノアシ、ホソイボノリ、ノボノリ、クロハギンナンソウ属：クロハギンナンソウ、アカバギンナンソウ属：アカバギンナンソウ、ヒシブクロ属：ヒシブクロ、マダラグサ属：トゲマダラ、エツキマダラ、タオヤギソウ属：タオヤギソウ、ハナサクラ、フクロツナギ属：フクロツナギ、スジコノリ、ハナノエダ属：ハナノエダ、ヒラタオヤギ属：ヒラタオヤギ、ダルス属：ダルス、マサゴシバリ、アナダルス、ウエバグサ属：ウエバグサ、ベニフクロノリ属：ベニフクロノリ、フシツナギ属：フシツナギ、ヒメフシツナギ、ヒロハフシツナギ、ワツナギソウ属：ヒラワツナギソウ、ウスバワツナギソウ、イギス属：イギス、ケイギス、ハリイギス、ハネイギス、アミクサ、エゴノリ属：エゴノリ、フトイギス、サエダ属：サエダ、チリモミジ属：チリモミジ、コノハノリ科：ハブタエノリ、コノハノリ、スズシロノリ、ウスベニ属：ウスベニ、ハスジギヌ属：ハスジギヌ、ナガコノハノリ属：ナガコノハノリ、スジギヌ属：スジギヌ、アツバスジギヌ、ハイウスバノリ属：カギウスバノリ、ヤレウスバノリ、スジウスバノリ、ハイウスバノリ、ウスバノリモドキ属：ウスバノリモドキ、アヤニシキ属：アヤニシキ、アヤギヌ属：アヤギヌ、ダジア属：エナシダジア、シマダジア属：イソハギ、シマダジア、ダジモドキ属：ダジモドキ、イトグサ属：モロイトグサ、フトイグサ、マクリ属：マクリ、ヤナギノリ属：ハナヤナギ、ユナ、ヤナギノリ、モツレユナ、ベニヤナギコリ、モサヤナギ、ササバヤナギノリ、ソゾ属：クロソゾ、コブソゾ、ハネソゾ、ソゾノハナ、ハネグサ属：ハネグサ、ケハネグサ、コザネモ属：コザネモ、イソムラサキ、ホソコザネモ、ヒメゴケ属：ヒメゴケ、クロヒメゴケ、ヒオドシグ属：キクヒオドシ、ヒオドシグサ、ウスバヒオドシ、アイソメグサ属：アイソメグサ、スジナシグサ属：スジナシグサ、イ

ソバショウ属：イソバショウ、フジマツモ属：フジマツモ、ノコギリヒバ属：ハケサキノコギリヒバ、カワモズク属：カワモズク、アオカワモズク、ヒメカワモズク、イデユコゴメ属：イデユコゴメ、オキチモズク属：オキチモズク、イトグサ属、チノリモ属：チノリモ、チスジノリ属：チスジノリ等)。

【0040】車軸藻類(シャジクモ属、シラタマモ属、ホシツリモ属：ホシツリモ、リクノタムヌス属、フラスコモ属：ヒメフラスコモ、チャボフラスコモ、トリペラ属等)、黃色藻類(ヒカリモ属：ヒカリモ等)等。

【0041】又、動物系原料由来の素材としては、鶏冠抽出物、牛、豚又は人の胎盤抽出物、豚又は牛の胃、十二指腸、腸、脾臓の抽出物若しくはその分解物、牛又は豚の脳組織の抽出物、水溶性コラーゲン、アシル化コラーゲン等のコラーゲン誘導体、コラーゲン加水分解物、エラスチン、エラスチン加水分解物、水溶性エラスチン誘導体、ケラチン及びその分解物又はそれらの誘導体、シルク蛋白及びその分解物又はそれらの誘導体、豚又は牛血球蛋白分解物(グロビンペプチド)、牛又は豚ヘモ

20 グロビン分解物(ヘミン、ヘマチン、ヘム、プロトヘム、ヘム鉄等)、牛乳、カゼイン及びその分解物又はそれらの誘導体、脱脂粉乳及びその分解物又はそれらの誘導体、ラクトフェリン又はその分解物、鶏卵成分、魚肉分解物、核酸関連物質(リボ核酸、デオキシリボ核酸)等。

【0042】微生物系原料由来の素材としては酵母代謝物、酵母菌抽出エキス、細菌代謝物、細菌抽出エキス、カビ又は放線菌代謝物、カビ又は放線菌抽出エキス、納豆菌代謝物、納豆抽出エキス、米発酵エキス、米糠(赤糠、白糠)発酵エキス、ユーグレナ抽出物又はその分解物又はそれら水溶性誘導体、生乳又は脱脂粉乳の乳酸発酵物、トレハロース又はその誘導体等。

【0043】又、植物又は動物又は微生物系原料由来の素材としては、遺伝子組み替え体や細胞融合体由来の任意の部位、細胞、組織、器官、代謝物等も使用することができる。更に、任意の部位、細胞、組織、器官等を細胞培養することで得られる、例えば未分化細胞群や分化途中の細胞群やそれらの代謝物等も使用することができる。

40 【0044】天然物原料としては深層水等の海水類、例えば、海水塩、海水乾燥物、死海又は大西洋又は太平洋の海より得た無機塩(塩化ナトリウム、塩化マグネシウム、塩化カリウム等)、海泥又は泥(ファンゴ)類、例えば、イタリアファンゴ、ドイツファンゴ、アイフェルファンゴ、フライブルグファンゴ等の各地の海泥又は泥(含有成分:二酸化珪素、二酸化チタン、酸化アルミニウム、酸化鉄、酸化マンガン、酸化ナトリウム、酸化カリウム、酸化マグネシウム、酸化カルシウム、酸化ストロンチウム、ナトリウム、カリウム、マグネシウム、カルシウム、クロム、鉄、銅、ニッケル、亜鉛、鉛、マン

ガン、ヒ素、水)、聖徳石等の海洋成分等。

【0045】(14)その他、メラニン生成促進剤又は化粧料組成物及び浴用剤組成物の形態を形成する上で使用できる成分や添加剤

無水ケイ酸、ケイ酸マグネシウム、タルク、カオリン、ベントナイト、マイカ、雲母チタン、オキシ塩化ビスマス、酸化ジルコニアム、酸化マグネシウム、酸化亜鉛、酸化チタン、炭酸カルシウム、炭酸マグネシウム、黄酸化鉄、ベンガラ、黒酸化鉄、グンジョウ、酸化クロム、水酸化クロム、カーボンブラック、カラミン等の無機顔料類、過酸化水素水、過硫酸ナトリウム、過硫酸アンモニウム、過ホウ酸ナトリウム、過酸化尿素、過炭酸ナトリウム、過酸化トリポリリン酸ナトリウム、臭素酸ナトリウム、臭素酸カリウム、過酸化ピロリン酸ナトリウム、過酸化オルソリン酸ナトリウム、ケイ酸ナトリウム過酸化水素付加体、硫酸ナトリウム過酸化水素付加体、塩化ナトリウム過酸化水素付加体、 $\beta$ -チロシナーゼ酵素液、マッシュルーム抽出液、硫酸ストロンチウム、硫化ナトリウム、硫化バリウム、硫化カルシウム等の無機系還元剤、チオグリコール酸又はその塩類(チオグリコール酸カルシウム、チオグリコール酸ナトリウム、チオグリコール酸リチウム、チオグリコール酸マグネシウム、チオグリコール酸ストロンチウム)等の酸化還元剤、5-アミノオルトクレゾール、2-アミノ-4-ニトロフェノール、2-アミノ-5-ニトロフェノール、1-アミノ-4-メチルアミノアントラキノン、3,3'-イミノジフェノール、塩酸2,4-ジアミノフェノキシエタノール、塩酸2,4-ジアミノフェノール、塩酸トルエン-2,5-ジアミン、塩酸ニトロパラフェニレンジアミン、塩酸パラフェニレンジアミン、塩酸N-フェニルパラフェニレンジアミン、塩酸メタフェニレンジアミン、オルトアミノフェノール、酢酸N-フェニルパラフェニレンジアミン、1,4-ジアミノアントラキノン、2,6-ジアミノピリジン、1,5-ジヒドロキシナフタレン、トルエン-2,5-ジアミン、トルエン-3,4-ジアミン、ニトロパラフェニレンジアミン、パラアミノフェノール、パラニトロオルトフェニレンジアミン、パラフェニレンジアミン、パラメチルアミノフェノール、ピクラミン酸、ピクラミン酸ナトリウム、N,N'-ビス(4-アミノフェニル)-2,5-ジアミノ-1,4-キノンジイミン、5-(2-ヒドロキシエチルアミノ)-2-メチルフェノール、N-フェニルパラフェニレンジアミン、メタアミノフェノール、メタフェニレンジアミン、硫酸5-アミノオルトクレゾール、硫酸2-アミノ-5-ニトロフェノール、硫酸オルトアミノフェノール、硫酸オルトクロルパラフェニレンジアミン、硫酸4,4'-ジアミノジフェニルアミン、硫酸2,4-ジアミノフェノール、硫酸トルエン-2,5-ジアミン、硫酸ニトロパラフェニレンジアミン、硫酸パラアミノフェノール、硫酸パラニトロオルトフェニレンジアミン、硫酸パラニトロメタフェニレンジアミン、硫酸パラフェニレンジアミン、硫酸パラメチルアミン、硫酸パラフェニレンジアミン、硫酸パラメチルアミン、硫酸メタノール、硫酸メタアミノフェノール、硫酸メタフエニレンジアミン、カテコール、ジフェニルアミン、 $\alpha$ -ナフトール、ヒドロキノン、ピロガロール、フロログルシン、没食子酸、レゾルシン、タンニン酸、2-ヒドロキシ-5-ニトロ-2',4'-ジアミノアゾベンゼン-5'-スルホン酸ナトリウム、ヘマテイン等の染料剤、ジャコウ、シベット、カストリウム、アンバーグリス等の天然動物性香料、アニス精油、アンゲリカ精油、イランイラン精油、イリス精油、ウイキョウ精油、オレンジ精油、10 カナンガ精油、カラウェー精油、カルダモン精油、グアヤクウッド精油、クミン精油、黒文字精油、ケイ皮精油、シンナモン精油、グラニウム精油、コバイババルサム精油、コリアンデル精油、シソ精油、シダーウッド精油、シトロネラ精油、ジャスミン精油、ジンジャーグラス精油、杉精油、スペアミント精油、西洋ハッカ精油、大茴香精油、チュベローズ精油、丁字精油、橙花精油、冬緑精油、トルーバルサム精油、バチュリー精油、バラ精油、パルマローザ精油、桧精油、ヒバ精油、白檀精油、ブチグレン精油、ペイ精油、ベチバ精油、ベルガモット精油、ペルーバルサム精油、ボアドローズ精油、芳樟精油、マンダリン精油、ユーカリ精油、ライム精油、ラベンダー精油、リナロエ精油、レモングラス精油、レモン精油、ローズマリー精油、和種ハッカ精油等の植物性香料、その他合成香料等の香料、赤キャベツ色素、赤米色素、アカネ色素、アナト一色素、イカスミ色素、ウコン色素、エンジュ色素、オキアミ色素、柿色素、カラメル、金、銀、クチナシ色素、コーン色素、タマネギ色素、タマリンド色素、スピルリナ色素、ソバ全草色素、チェリー色素、海苔色素、ハイビスカス色素、ブドウ果汁色素、マリーゴールド色素、紫イモ色素、紫ヤマイモ色素、ラック色素、ルチン等の色素・着色剤、アボガド油、アーモンド油、ウイキョウ油、エゴマ油、オリーブ油、オレンジ油、オレンジラファー油、ゴマ油、カカオ脂、カミツレ油、カロット油、キューカンバー油、牛脂脂肪酸、ククイナッツ油、サフラワー油、シア脂、液状シア脂、大豆油、ツバキ油、トウモロコシ油、ナタネ油、バージック油、ヒマシ油、綿実油、落花生油、タートル油、ミンク油、卵黄油、パーム油、パーム核油、モクロウ、ヤシ油、牛脂、豚脂又はこれら油脂類の水素添加物(硬化油等)等の油脂類、ミツロウ、カルナバロウ、鯨ロウ、ラノリン、液状ラノリン、還元ラノリン、硬質ラノリン、カンデリラロウ、モンタンロウ、セラックロウ、ライスワックス、スクワレン、スクワラン、ブリスタン等のロウ類、流動パラフィン、ワセリン、パラフィン、オゾケライド、セレシン、マイクロクリスタンワックス等の鉱物油、ラウリン酸、ミリスチン酸、パルミチン酸、ステアリン酸、ベヘン酸、オレイン酸、リノール酸、リノレン酸、ドコサヘキサエン酸、エイコサベントエン酸、12-ヒドロキシステアリン酸、ウンデシレン酸、トール油、ラノリン脂肪酸等の天然脂肪酸、イソ

ノフェノール、硫酸メタアミノフェノール、硫酸メタフエニレンジアミン、カテコール、ジフェニルアミン、 $\alpha$ -ナフトール、ヒドロキノン、ピロガロール、フロログルシン、没食子酸、レゾルシン、タンニン酸、2-ヒドロキシ-5-ニトロ-2',4'-ジアミノアゾベンゼン-5'-スルホン酸ナトリウム、ヘマテイン等の染料剤、ジャコウ、シベット、カストリウム、アンバーグリス等の天然動物性香料、アニス精油、アンゲリカ精油、イランイラン精油、イリス精油、ウイキョウ精油、オレンジ精油、カナンガ精油、カラウェー精油、カルダモン精油、グアヤクウッド精油、クミン精油、黒文字精油、ケイ皮精油、シンナモン精油、グラニウム精油、コバイババルサム精油、コリアンデル精油、シソ精油、シダーウッド精油、シトロネラ精油、ジャスミン精油、ジンジャーグラス精油、杉精油、スペアミント精油、西洋ハッカ精油、大茴香精油、チュベローズ精油、丁字精油、橙花精油、冬緑精油、トルーバルサム精油、バチュリー精油、バラ精油、パルマローザ精油、桧精油、ヒバ精油、白檀精油、ブチグレン精油、ペイ精油、ベチバ精油、ベルガモット精油、ペルーバルサム精油、ボアドローズ精油、芳樟精油、マンダリン精油、ユーカリ精油、ライム精油、ラベンダー精油、リナロエ精油、レモングラス精油、レモン精油、ローズマリー精油、和種ハッカ精油等の植物性香料、その他合成香料等の香料、赤キャベツ色素、赤米色素、アカネ色素、アナト一色素、イカスミ色素、ウコン色素、エンジュ色素、オキアミ色素、柿色素、カラメル、金、銀、クチナシ色素、コーン色素、タマネギ色素、タマリンド色素、スピルリナ色素、ソバ全草色素、チェリー色素、海苔色素、ハイビスカス色素、ブドウ果汁色素、マリーゴールド色素、紫イモ色素、紫ヤマイモ色素、ラック色素、ルチン等の色素・着色剤、アボガド油、アーモンド油、ウイキョウ油、エゴマ油、オリーブ油、オレンジ油、オレンジラファー油、ゴマ油、カカオ脂、カミツレ油、カロット油、キューカンバー油、牛脂脂肪酸、ククイナッツ油、サフラワー油、シア脂、液状シア脂、大豆油、ツバキ油、トウモロコシ油、ナタネ油、バージック油、ヒマシ油、綿実油、落花生油、タートル油、ミンク油、卵黄油、パーム油、パーム核油、モクロウ、ヤシ油、牛脂、豚脂又はこれら油脂類の水素添加物(硬化油等)等の油脂類、ミツロウ、カルナバロウ、鯨ロウ、ラノリン、液状ラノリン、還元ラノリン、硬質ラノリン、カンデリラロウ、モンタンロウ、セラックロウ、ライスワックス、スクワレン、スクワラン、ブリスタン等のロウ類、流動パラフィン、ワセリン、パラフィン、オゾケライド、セレシン、マイクロクリスタンワックス等の鉱物油、ラウリン酸、ミリスチン酸、パルミチン酸、ステアリン酸、ベヘン酸、オレイン酸、リノール酸、リノレン酸、ドコサヘキサエン酸、エイコサベントエン酸、12-ヒドロキシステアリン酸、ウンデシレン酸、トール油、ラノリン脂肪酸等の天然脂肪酸、イソ

ノナン酸、カプロン酸、2-エチルブタン酸、イソペントン酸、2-メチルペントン酸、2-エチルヘキサン酸、イソペントン酸等の合成脂肪酸類、エタノール、イソビロパノール、ラウリルアルコール、セタノール、ステアリルアルコール、オレイルアルコール、ラノリンアルコール、コレステロール、フィトステロール、フェノキシエタノール等の天然アルコール、2-ヘキシルデカノール、イソステアリルアルコール、2-オクチルドデカノール等の合成アルコール等のアルコール類、ミリスチン酸イソプロピル、パルミチン酸イソプロピル、ステアリン酸ブチル、ラウリン酸ヘキシル、ミリスチン酸ミリスチル、オレイン酸オレイル、オレイン酸デシル、ミリスチン酸オクチルドデシル、ジメチルオクタン酸ヘキシルデシル、乳酸セチル、乳酸ミリスチル、フタル酸ジエチル、フタル酸ジブチル、酢酸ラノリン、モノステアリン酸エチレングリコール、モノステアリン酸プロピレングリコール、ジオレイン酸プロピレングリコール等のエステル類、ステアリン酸アルミニウム、ステアリン酸マグネシウム、ステアリン酸亜鉛、ステアリン酸カルシウム、パルミチン酸亜鉛、ミリスチン酸マグネシウム、ラウリン酸亜鉛、ウンデシレン酸亜鉛等の金属セッケン類、アニオン界面活性剤（アルキルカルボン酸塩、アルキルスルホン酸塩、アルキル硫酸エステル塩、アルキルリン酸エステル塩）、カチオン界面活性剤（アルキルアミン塩、アルキル四級アンモニウム塩）、両性界面活性剤：カルボン酸型両性界面活性剤（アミノ型、ベタイン型）、硫酸エステル型両性界面活性剤、スルホン酸型両性界面活性剤、リン酸エステル型両性界面活性剤、非イオン界面活性剤（エーテル型非イオン界面活性剤、エーテルエステル型非イオン界面活性剤、エステル型非イオン界面活性剤、ブロックポリマー型非イオン界面活性剤、含窒素型非イオン界面活性剤）、その他の界面活性剤（天然界面活性剤、タンパク質加水分解物の誘導体、高分子界面活性剤、チタン・ケイ素を含む界面活性剤、フッ化炭素系界面活性剤）等の界面活性剤、二硫化セレン、臭化アルキルイソキノリニウム液、ジンクピリチオノン、ビフェナミン、チアントール、塩酸キニーネ、強アンモニア水等の頭髪処理剤。

【0046】その他、ホルモン類、金属イオン封鎖剤、pH調整剤、キレート剤、防腐・防バイオ剤、清涼剤、安定化剤、乳化剤、動・植物性蛋白質及びその分解物、動・植物性多糖類及びその分解物、動・植物性糖蛋白質及びその分解物、消炎剤・抗アレルギー剤、創傷治療剤、増泡剤、増粘剤、酵素、精製水（電子水、小クラスター化等）、消臭・脱臭剤等も併用することが可能である。

【0047】

【実施例】以下に、本発明の試験例及び処方例を示し、更に具体的に説明するが、本発明がこれらに制約されるものではない。

【0048】（試験例1）メラニン生成促進作用試験  
24時間の前培養で取得したB16メラノーマ細胞に、分析対象である成分を25ppm含有する培地（分析対象成分以外は前培養で用いた培地と同組成である）を添加し、3日間培養する。次に培養後の細胞をトリプシンで処理し、1N-NaOH、10%DMSO溶液で加熱溶解後、メラノーマ

10 細胞中で生産されたメラニンを475nmにおける吸光度で測定した。本試験で供試した成分は、2-ヒドロキシベンゾイルアミノ酢酸、2-ヒドロキシフェニルメチル酢酸エステル、2-ヒドロキシメチルフェニル- $\beta$ -D-グルコピラノシド、サリチル酸ナトリウム、及び比較対照としてエタノールとメラニン生成阻害作用を有するアルブチンの6種で行った。メラニン生成促進作用は、対象であるエタノールでの475nmの吸光度を100とした場合の各成分の比（%）で示した。

【0049】（試験例1の結果）各成分のメラニン生成  
20 促進作用を図1に示した。対象であるエタノールに比べ、2-ヒドロキシベンゾイルアミノ酢酸では150.54%、2-ヒドロキシフェニルメチル酢酸エステルでは166.13%、2-ヒドロキシメチルフェニル- $\beta$ -D-グルコピラノシドでは192.47%、サリチル酸ナトリウムでは145.70%と、非常に高いメラニン生成促進作用を示した。

【0050】（試験例2）皮膚褐色化試験  
2-ヒドロキシベンゾイルアミノ酢酸又は2-ヒドロキシメチルフェニル- $\beta$ -D-グルコピラノシド0.1重量%、アラントイン0.1重量%、ヒアルロン酸0.5重量%、ポリオキシエチレンオレイルアルコール1.0重量%、グリセリン3.0重量%、クエン酸0.05重量%、精製水残量、以上を混合し皮膚外用剤を調製した。対象としてサリチル酸類又はサリチルアルコール類をエタノールに置換した同組成の皮膚外用剤を調製した。調製した各皮膚外用剤を女性10名の上腕部に1日1回塗布し、塗布部位に光があたらないよう1週間継続し、2-ヒドロキシベンゾイルアミノ酢酸及び2-ヒドロキシメチルフェニル- $\beta$ -D-グルコピラノシドの皮膚褐色化への影響と、それと同時に肌質への影響を検討した。褐色化は色彩色差計（CR-200：株式会社ミノルタ製）を用いて測定し、算出される明度（L値）を調べた。皮膚中のメラニン量が増加するに従い、明度（L値）は低下する。肌質への影響は、被試験者の中で皮膚外用剤塗布により【肌荒れ】及び【皮膚弾力】の改善を実感できた人数を調べた。

【0051】  
【表1】皮膚褐色化試験

	成分名		
	エタノール(対照) 2-ヒドロキシベンゾイル アミノ酢酸	2-ヒドロキシメチルフェニル -β-D-グルコピラノシド	
明度(L値)	68.3	57.2	53.6
肌荒れ	0人	8人	9人
皮膚弾力	0人	5人	6人

【0052】(試験例2の結果) 2-ヒドロキシベンゾイルアミノ酢酸及び2-ヒドロキシメチルフェニル-β-D-グルコピラノシドの皮膚褐色化への影響を検討した結果を表1に示した。明度(L値)は10名の各測定値の平均値を示した。【肌荒れ】及び【皮膚弾力】は被試験者のうち、これらの項目が改善された人数を示した。対象であるエタノールの明度が68.3であったのに対し、2-ヒドロキシベンゾイルアミノ酢酸では57.2、2-ヒドロキシメチルフェニル-β-D-グルコピラノシドでは53.6と、明確な皮膚の褐色化を示し、優れたメラニン生成促進作用を有することが示された。更に併用成分の効能である肌荒れ改善効果や皮膚弾力改善効果も十分発現されていることが示された。

#### 【0053】(試験例3) 毛髪黒色化試験

2-ヒドロキシベンゾイルアミノ酢酸又は2-ヒドロキシメチルフェニル-β-D-グルコピラノシド0.1重量%、エタノール25.0重量%、ポリオキシプロピレンモノブチルエーテ

ルリン酸10.0重量%、カルボキシメチルキチン3.0重量%、トコフェロール0.2重量%、精製水残量、以上を混合しヘアリキッドを調製した。調製した各ヘアリキッドをそれぞれ男性5名の頭部に1日1回塗布することを4週間継続し、2-ヒドロキシベンゾイルアミノ酢酸及び2-ヒドロキシメチルフェニル-β-D-グルコピラノシドの毛髪黒色化への影響と、それと同時に髪質への影響を検討した。黒色化は色彩色差計(CR-200:株式会社ミノルタ製)を用いて測定し、算出される明度(L値)を調べた。毛髪中のメラニン量が増加するに従い、明度(L値)は低下する。髪質への影響は、被試験者の中でヘアリキッド塗布により【パサツキ】及び【抜け毛】の改善を実感できた人数を調べた。

#### 【0054】

#### 【表2】毛髪黒色化試験

	成分名		
	2-ヒドロキシベンゾイル アミノ酢酸	2-ヒドロキシメチルフェニル -β-D-グルコピラノシド	
明度(L値)	18.5 (試験前 24.6)	17.9 (試験前 23.2)	
パサツキ	4人	5人	
抜け毛	2人	2人	

【0055】(試験例3の結果) 2-ヒドロキシベンゾイルアミノ酢酸及び2-ヒドロキシメチルフェニル-β-D-グルコピラノシドの毛髪黒色化への影響を検討した結果を表2に示した。明度(L値)はそれぞれ5名の各測定値の平均値を示した。【パサツキ】及び【抜け毛】は被試験者のうち、これらの項目が改善された人数を示した。2-ヒドロキシベンゾイルアミノ酢酸を含有したヘアリキッドでは、試験前の明度が24.6であった毛髪が試験後には18.5に低下しており、又、2-ヒドロキシメチルフェニル-β-D-グルコピラノシドを含有したヘアリキッドでは、試験前の明度が23.2であった毛髪が試験後には17.9

に低下しており、毛髪中のメラニン量を増加させ黒色化を促進する作用を有することが明確に示された。更に、併用成分の効能であるパサツキや抜け毛等の予防又は改善効果も十分発現されていることが示された。

【0056】(処方例) メラニン生成促進剤又は化粧料組成物の製造  
40 上記の評価結果に従い、以下にその処方例を示すが、各処方例は各製品の製造における常法により製造したもので良く、配合量のみを示した。又、本発明はこれらに限定されるわけではない。

#### 【0057】

	重量%
1.スクワラン	5.0
2.オリーブ油	5.0
3.ホホバ油	5.0
4.セチルアルコール	1.5

#### (処方例1) 乳液

- 1.スクワラン
- 2.オリーブ油
- 3.ホホバ油
- 4.セチルアルコール

5. グリセリンモノステアレート	2.0
6. ポリオキシエチレン(20)セチルエーテル	3.0
7. ポリオキシエチレン(20)ソオルビタンモノオレート	2.0
8. 1, 3-ブチレングリコール	1.0
9. グリセリン	2.0
10. 2-ヒドロキシベンゾイルアミノ酢酸	0.1
11. 防腐剤 (パラオキシ安息香酸エステル)	適量
12. 精製水	100とする残余

【0058】

(处方例2) 乳液	重量%
1. スクワラン	8.0
2. ホホバ油	7.0
3. パラアミノ安息香酸グリセリル	1.0
4. ウロカニン酸エチル	1.0
5. ビタミンCリン酸エステルマグネシウム塩	1.0
6. セチルアルコール	1.5
7. グリセリンモノステアレート	2.0
8. ポリオキシエチレン(20)セチルエーテル	3.0
9. ポリオキシエチレン(20)ソオルビタンモノオレート	2.0
10. 1, 3-ブチレングリコール	1.0
11. グリセリン	2.0
12. 発酵乳エキス	1.0
13. 2-ヒドロキシメチルフェニル-β-D-グルコピラノシド	0.1
14. 防腐剤 (パラオキシ安息香酸エステル)	適量
15. 精製水	100とする残余

【0059】

(处方例3) 化粧用オイル	重量%
1. 流動パラフィン	30.0
2. スクワラン	20.0
3. オリーブ油	20.0
4. パルミチン酸イソプロピル	10.0
5. グレープフルーツ果実又は葉熱水抽出液	3.0
6. 米糠熱水抽出液	1.0
7. オリーブ油	1.0
8. シア脂	1.0
9. サリチル酸ナトリウム	0.2
10. プチルヒドロキシアニソール	0.1
11. ビタミンE誘導体	0.1
12. 防腐剤 (塩化ベンザルコニウム)	適量
13. 香料 (カミツレ水)	適量
14. 精製水	100とする残余

【0060】

(处方例4) 化粧水	重量%
1. グリセリン	5.0
2. 1, 3-ブチレングリコール	5.0
3. モラクリン酸ポリオキシエチレンルビタン(20E.0)	1.0
4. エタノール	15.0
5. グレープフルーツ果実又は葉熱水抽出液	1.0
6. セイヨウトチノキ全草50%エタノール抽出液	1.0
7. キウイ果実50%エタノール抽出液	1.0

8.2-ヒドロキシメチルフェニル- $\beta$ -D-グルコピラノシド	0.1
9.レゾルシン	0.1
10.抗菌・防腐剤(ラクトフェリン溶液)	適量
11.香料(西洋薄荷水)	適量
12.精製水	100とする残余

## 【0061】

(処方例5) 化粧水		重量%
1.ソルビット	2.0	
2.P.O.E.(20)オレイルアルコール	1.0	
3.エタノール	15.0	
4.ゲンチアナ全草50%エタノール抽出液	1.0	
5.ハマメリス葉又は樹皮50%エタノール抽出液	1.0	
6.アラントイン	0.2	
7.収れん剤(スルホ石炭酸亜鉛)	0.2	
8.2-2-ヒドロキシベンゾイルアミノ酢酸	0.2	
9.抗菌・防腐剤(チアミンラウリル硫酸塩)	適量	
10.香料(ラベンダー水)	適量	
11.精製水	100とする残余	

## 【0062】

(処方例6) 2層式化粧水(液～液型)		重量%
1.スクワラン	8.0	
2.P.O.E.ツルビタンテトラオレイン酸エステル	0.3	
3.ソルビット	1.0	
4.エタノール	15.0	
5.ムラサキ(紫根)根50%プロピレングリコール抽出液	2.0	
6.陳皮果実30%エタノール抽出液	1.0	
7.アスコルビン酸	0.2	
8.2-ヒドロキシフェニルメチル酢酸エステル	0.1	
9.収れん剤(カラミン)	0.1	
10.グリチルリチン酸ジカリウム	0.1	
11.防腐剤(フェノキシエタノール)	適量	
12.香料(レモン水)	適量	
13.精製水	100とする残余	

## 【0063】

(処方例7) カーマインローション(液～固型)		重量%
1.グリセリン	3.0	
2.1,3-ブチレングリコール	5.0	
3.エタノール	15.0	
4.酸化鉄(ベンガラ)	0.2	
5.酸化亜鉛	0.5	
6.ヒアルロン酸	3.0	
7.カオリン	2.0	
8.紫蘇葉50%プロピレングリコール抽出液	2.0	
9.西洋菩提樹花又は葉50%プロピレングリコール抽出液	1.0	
10.緑茶葉又は茎50%1,3-ブチレングリコール抽出液	1.0	
11.カンファー	0.2	
12.2-ヒドロキシベンゾイルアミノ酢酸	0.2	
13.フェノール	0.03	
14.防腐剤(感光素201&401号)	適量	
15.香料(イランイラン水)	適量	

41

## 16. 精製水

【0064】

(处方例8) パック	重量%
1. ポリビニルアルコール	15.0
2. カルボキシメチルセルロースナトリウム	5.0
3. プロピレングリコール	3.0
4. エタノール	10.0
5. オタネニンジン根茎30%エタノール抽出液	1.0
6. アカヤジオウ根茎又は根皮50%プロピレングリコール抽出液	1.0
7. 2-ヒドロキシメチルフェニル-β-D-グルコピラノシド	0.1
8. 酵母エキス	0.1
9. 防腐剤 (パラオキシ安息香酸エステル)	適量
10. 香料 (バラ水)	適量
11. 精製水	100とする残余

【0065】

(处方例9) ビールオフパック	重量%
1. グリセリン	5.0
2. プロピレングリコール	4.0
3. ポリビニルアルコール	15.0
4. エタノール	8.0
5. ポリオキシエチレングリコール	1.0
6. パントテニルエチルエーテル	1.0
7. センブリ全草50%エタノール抽出液	1.0
8. シモツケソウ花50%プロピレングリコール抽出液	1.0
9. 尿素	0.3
10. 2-ヒドロキシメチルフェニル-β-D-グルコピラノシド	0.1
11. 防腐剤 (パラオキシ安息香酸エステル)	適量
12. 香料 (檜葉水)	適量
13. 精製水	100とする残余

【0066】

(处方例10) コールドクリーム	重量%
1. サラシミツロウ	11.0
2. 流動パラフィン	22.0
3. ラノリン	10.0
4. オリーブ油	5.0
5. カミツレ油	5.0
6. パーム油	5.0
7. ホウ砂	0.5
8. パリエタリア葉抽出液 (エタノール:1,3-ブチレングリコール=1:1抽出溶媒)	2.0
9. ドクダミ葉抽出液 (エタノール:1,3-ブチレングリコール=1:1抽出溶媒)	2.0
10. 白樺樹皮抽出液 (エタノール:1,3-ブチレングリコール=1:1抽出溶媒)	2.0
11. 液状シア脂	1.0
12. 2-ヒドロキシベンゾイルアミノ酢酸	0.2
13. 防腐剤 (アクリノール)	0.1
14. 香料 (菩提樹水)	適量
15. 精製水	100とする残余

【0067】

## (处方例 1-1) エモリエントクリーム

	重量%
1. ステアリン酸	2.0
2. ステアリルアルコール	7.0
3. 還元ラノリン	2.0
4. スクワラン	5.0
5. オクチルドデカノール	6.0
6. ポリオキシエチレンセチルエーテル (25E.O.)	3.0
7. 親油性モノステアリン酸グリセリン	2.0
8. プロピレングリコール	5.0
9. 苓葉根50%プロピレングリコール抽出液	1.0
10. カミツレ花50%プロピレングリコール抽出液	1.0
11. サリチル酸ナトリウム	0.3
12. パントテン酸カルシウム	0.2
13. 防腐剤 (パラベン)	適量
14. 香料 (丁子水)	適量
15. 精製水	100とする残余

【0068】

## (处方例 1-2) 洗顔クリーム

	重量%
1. ミリスチン酸	25.0
2. ステアリン酸	5.0
3. 牛脂脂肪酸	5.0
4. プロピレングリコール	10.0
5. 水酸化カリウム	6.0
6. ヤシ油脂脂肪酸ジエタノールアミド	6.0
7. ローズマリー葉又は花熱水抽出液	2.0
8. ヘチマ果皮又は果実粉末	2.0
9. グリチルレチン酸ジカリウム	1.0
10. 2-ヒドロキシメチルフェニル-β-D-グルコピラノシド	0.2
11. 防腐剤 (フェノキエタノール)	0.1
12. 香料 (ペルガモット水)	適量
13. 精製水	100とする残余

【0069】

## (处方例 1-3) 洗顔クリーム

	重量%
1. ステアリン酸	10.0
2. パルミチン酸	10.0
3. ミリスチン酸	12.0
4. ラウリン酸	4.0
5. オレイルアルコール	1.5
6. ラノリン誘導体 (E.O. 付加物)	1.0
7. グリセリン	18.0
8. 水酸化カリウム	6.0
9. カルボキシメチルキチン	3.0
10. ローヤルゼリー抽出液 (エタノール:1,3-ブチレングリコール=1:1等々)	1.0
11. グリチルリレチン酸	1.0
12. 2-ヒドロキシベンゾイルアミノ酢酸	0.2
13. 防腐剤 (1,2-ペンタンジオール)	0.1
14. 香料 (ヨモギ水)	適量
15. 精製水	100とする残余

【0070】

## (处方例 1 4) ボディーソープ

	重量%
1. ラウリン酸カリウム	15.0
2. ミリスチン酸カリウム	5.0
3. プロピレングリコール	5.0
4. ヒメマツタケ70%1, 3-ブチレングリコール抽出液	1.0
5. ワカメ70%1, 3-ブチレングリコール抽出液	0.5
6. メリロート花又は葉70%1, 3-ブチレングリコール抽出液	0.5
7. アマチャヅル葉又は茎70%1, 3-ブチレングリコール抽出液	0.5
8. ウスベニアオイ花又は葉50%プロピレングリコール抽出液	2.0
9. ポリエチレン末	0.5
10. ヒドロキシプロピルキトサン溶液	0.5
11. グルタミン酸	0.5
12. 2-ヒドロキシフェニルメチル酢酸エステル	0.1
13. 防腐剤 (ウンデシレン酸、フェノール)	適量
14. pH調整剤	適量
15. 香料 (ラベンダー水)	適量
16. 精製水	100とする残余

【0071】

## (处方例 1 5) サンスクリーン化粧品 (O/W型)

	重量%
1. オキシベンゾン	2.0
2. パラメトキシケイ皮酸オクチル	5.0
3. スクワラン	10.0
4. ワセリン	5.0
5. ステアリルアルコール	3.0
6. ステアリン酸	3.0
7. グリセリルモノステアレート	2.0
8. ポリアクリル酸エチル	1.0
9. 1, 3-ブチレングリコール	6.0
10. エデト酸二ナトリウム	0.1
11. トリエタノールアミン	1.0
12. 二酸化チタン	5.0
13. 2-ヒドロキシベンゾイルアミノ酢酸	0.3
14. ヤグルマギク50%ジプロピレングリコール抽出液	0.5
15. 葛根50%ジプロピレングリコール抽出液	0.5
16. コレカルシフェロール	0.2
17. 防腐剤 (パラベン)	適量
18. 香料 (林檎水)	適量
19. 精製水	100とする残余

【0072】

## (处方例 1 6) サンスクリーン化粧品 (オイルタイプ)

	重量%
1. 流動パラフィン	70.0
2. パラアミノ安息香酸エチル	1.0
3. テトラヒドロキシベンゾフェノン	1.0
4. セチルオクタノエート	25.0
5. 2-ヒドロキシメチルフェニル-β-D-グルコピラノシド	0.1
6. ゴボウ根50%1, 3-ブチレングリコール抽出液	0.5
7. ハトムギ全草50%1, 3-ブチレングリコール抽出液	0.5
8. 茴香果実30%1, 3-ブチレングリコール抽出液	2.0
9. 酸化防止剤 (ブチルヒドロキシトルエン)	適量
10. 香料 (ヤグルマギク水)	適量

【0073】

(处方例17) クリームファンデーション(O/W型)		重量%
1.ステアリン酸	4.0	
2.モノステアリン酸グリセリン	3.0	
3.セタノール	1.5	
4.ミリスチン酸イソプロピル	7.0	
5.流動パラフィン	10.0	
6.サラシミツロウ	3.0	
7.トリエタノールアミン	1.5	
8.グリセリン	3.0	
9.ソジウムモンモリロナイト	1.0	
10.酸化チタン	8.0	
11.2,4-ジヒドロキシベンゾフェノン	8.0	
12.カオリン	3.0	
13.タルク	3.0	
14.着色顔料(黄酸化鉄)	1.0	
15.2-ヒドロキシベンゾイルアミノ酢酸	0.2	
16.トウキンセンカ花50%1,2-ブチレングリコール抽出液	0.5	
17.防腐剤(フェノキシエタノール)	適量	
18.香料(ローズ水)	適量	
19.精製水	100とする残余	

【0074】

(处方例18) シャンプー		重量%
1.ラウリル硫酸トリエタノールアミン	5.0	
2.ポリオキシエチレンラウリルエーテル硫酸ナトリウム	12.0	
3.1,3-ブチレングリコール	4.0	
4.ラウリン酸ジエタノールアミド	2.0	
5.エデト酸二ナトリウム	0.1	
6.2-ヒドロキシメチルフェニル-β-D-グルコピラノシド	0.2	
7.ケラチン加水分解物	0.5	
8.オタネニンジン根50%エタノール抽出液	1.0	
9.当帰根30%1,4-ブチレングリコール抽出液	1.0	
10.ヒドロキシプロピルキトサン溶液	2.0	
11.ムコ多糖体溶液	1.0	
12.抗菌・防腐剤(感光素101号)	適量	
13.pH調整剤	適量	
14.香料(白檀水)	適量	
15.精製水	100とする残余	

【0075】

(处方例19) リンス		重量%
1.塩化ステアリルトリメチルアンモニウム	2.0	
2.セトステアリルアルコール	2.0	
3.ポリオキシエチレンラノリンエーテル	3.0	
4.プロピレングリコール	5.0	
5.2-ヒドロキシベンゾイルアミノ酢酸	0.1	
6.センブリ葉又は茎50%1,2-ブチレングリコール抽出液	1.0	
7.フキタンボボ花又は葉50%1,3-ブチレングリコール抽出液	1.0	
8.ヒドロキシエチルキトサン溶液	1.0	
9.トレハロース溶液	1.0	
10.加水分解シルク溶液	1.0	

11. 抗菌・防腐剤（塩化ベンザルコニウム）  
 12. 香料（ラベンダーウォーター）  
 13. 精製水

時開 2002-275060

- 適量  
 適量  
 100とする残余

【0076】

## (処方例 20) リンス

	重量%
1. 塩化ステアリルトリメチルアンモニウム	2.0
2. セトステアリルアルコール	2.0
3. ポリオキシエチレンラノリンエーテル	3.0
4. プロピレングリコール	5.0
5. エチレングリコール	3.0
6. 2-ヒドロキシフェニルメチル酢酸エステル	0.2
7. 枇杷葉30%エタノール抽出液	1.0
8. 紅花全草50%エタノール抽出液	1.0
9. オランダゼリ（パセリ）葉又は茎50%エタノール抽出液	1.0
10. トレハロース溶液	1.0
11. 加水分解ケラチン溶液	1.0
12. 抗菌・防腐剤（塩化ベンザルコニウム）	適量
13. 香料（カミツレ水）	適量
14. 精製水	100とする残余

【0077】

20

## (処方例 21) ヘアーリキッド

	重量%
1. エタノール	29.0
2. ポリオキシプロピレンブチルエーテルリン酸	10.0
3. ポリオキシプロピレンモノブチルエーテル	5.0
4. トリエタノールアミン	1.0
5. 2-ヒドロキシベンゾイルアミノ酢酸	0.2
6. ホップ雌花穂50%エタノール抽出液	1.0
7. 塩化カルブロニウム	0.3
8. ヒノキチオール	0.5
9. ケラチン分解溶液	1.0
10. 抗菌・防腐剤（パラベン、塩化ベンザルコニウム）	適量
11. 香料（ローズヒップ水）	適量
12. 精製水	100とする残余

【0078】

## (処方例 22) ヘアーリキッド

	重量%
1. エタノール	29.0
2. ポリオキシプロピレンブチルエーテルリン酸	10.0
3. ポリオキシプロピレンモノブチルエーテル	5.0
4. トリエタノールアミン	1.0
5. トリメチレングリコール	5.0
6. 2-ヒドロキシメチルフェニル-β-D-グルコピラノシド	0.2
7. レモン果実50%1,3-ブチレングリコール抽出液	0.5
8. リンゴ果実30%エタノール抽出液	1.0
9. カンファー	0.1
10. アズレン	1.0
11. 抗菌・防腐剤（パラベン、塩化ベンザルコニウム）	適量
12. 香料（ジャスミン水）	適量
13. 精製水	100とする残余

【0079】

## (処方例 23) ヘアートニック

重量%

51

1. エタノール	40.0
2. オレイン酸エチル	1.0
3. ポリオキシエチレン(40)硬化ヒマシ油	2.0
4. 2-ヒドロキシメチルフェニル- $\beta$ -D-グルコピラノシド	0.2
5. コンドロイチン硫酸	1.0
6. コンフリー葉又は茎50%エタノール抽出液	3.0
7. レタス葉50%エタノール抽出液	3.0
8. 防腐剤(フェノキシエタノール)	0.1
9. 精製水	100とする残余

【0080】

10

(处方例24) ヘアートニック	重量%
1. 1-メントール	0.2
2. エタノール	32.5
3. ポリオキシエチレン硬化ヒマシ油	0.5
4. プロピレングリコール	5.0
5. 塩酸ジフェンヒドラミン	0.3
6. サリチル酸ナトリウム	0.2
7. 唐辛子果実熱水抽出液	1.0
8. ピロウドアオイ根茎又は根皮50%エタノール抽出液	1.0
9. オウゴン根茎又は根皮50%エタノール抽出液	1.0
10. 枸杞根茎又は根皮50%エタノール抽出液	1.0
11. ポリグルタミン酸ナトリウム塩	1.0
12. ビタミンE誘導体	0.5
13. 抗菌・防腐剤(パラベン)	0.1
14. 香料(セージ水)	適量
15. 精製水	100とする残余

【0081】

(处方例25) 育毛・養毛剤	重量%
1. エタノール	60.0
2. 2-ヒドロキシベンゾイルアミノ酢酸	0.5
3. ピロウドアオイ根茎又は根皮50%エタノール抽出液	1.0
4. タチジャコウソウ全草50%プロピレングリコール抽出液	2.0
5. ビタミンE誘導体	0.5
6. トウガラシチンキ	0.5
7. レゾルシン	0.5
8. グリチルリチン酸ジカリウム	0.5
9. カルボキシメチルキチン溶液	0.5
10. 豚ヘマチン液	0.5
11. 豚ムチン溶液	0.5
12. アミノ酸(グリシン、グルタミン等)	0.5
13. 抗菌・防腐剤(パラベン)	0.1
14. 香料(ローズマリー水)	適量
15. 精製水	100とする残余

【0082】

(处方例26) 育毛・養毛剤	重量%
1. エタノール	60.0
2. 2-ヒドロキシメチルフェニル- $\beta$ -D-グルコピラノシド	0.5
3. センブリ全草60%エタノール抽出液	1.0
4. ボタン根茎又は根皮60%エタノール抽出液	1.0
5. カンタリスチンキ	0.5

53

6. パントテン酸誘導体	0.5
7. グリチルリチン酸	0.5
8. レゾルシン	0.5
9. 塩化カルプロニウム	0.5
10. ヒドロキシエチルキトサン溶液	0.5
11. エラスチン加水分解液	0.5
12. 抗菌・防腐剤(パラベン)	0.1
13. 香料(ラベンダー水)	適量
14. 精製水	100とする残余

【0083】

10

(処方例27) 顆粒浴用剤	重量%
1. 炭酸水素ナトリウム	58.0
2. 無水硫酸ナトリウム	30.0
3. ホウ砂	2.0
4. 2-ヒドロキシメチルフェニル-β-D-グルコピラノシド	0.5
5. センキュウ熱水抽出液乾燥粉末	8.0
6. ナツメ全草熱水抽出液乾燥粉末	2.0
7. 温州ミカン50%エタノール抽出液乾燥粉末	1.0
8. 色素(グンジョウ緑)	適量

【0084】

20

(処方例28) 顆粒浴用剤	重量%
1. 炭酸水素ナトリウム	58.0
2. 無水硫酸ナトリウム	30.0
3. ホウ砂	4.0
4. 2-ヒドロキシベンゾイルアミノ酢酸	0.5
5. 紅茶熱水抽出液乾燥粉末	1.0
6. 菖蒲葉又は根70%エタノール抽出液乾燥粉末	1.0
7. 林檎果汁粉末	1.0
8. 色素(グンジョウ、水酸化クロム)	適量
9. 香料(ローマカミツレ水)	適量

【0085】(処方例29)被覆保護剤

ガーゼ又はリニメント布に2-ヒドロキシメチルフェニル-β-D-グルコピラノシド、抗生物質、抗炎症剤等、適量を混合した処方液を含浸させ、外傷部に添付する。又、製造例1を直接、局所に散布し、ガーゼ等で被覆しても良い。

【0086】

【発明の効果】本発明のサリチル酸又はその誘導体、又はそれらの塩から選ばれる少なくとも1種以上、及び/又はサリチルアルコール又はその誘導体から選ばれる少なくとも1種以上を有効成分として含有するメラニン生成促進剤又は化粧料組成物はメラニン生成促進作用に優

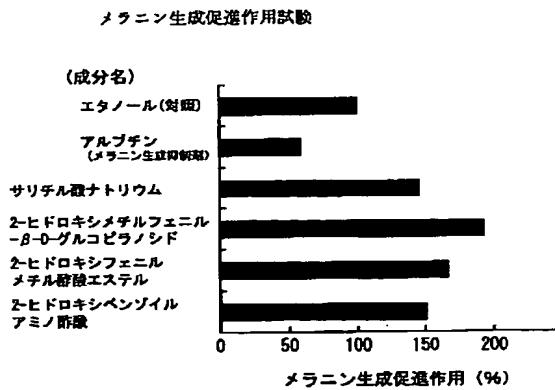
40

れ、皮膚及び毛髪のメラニン量を増加させ、紫外線等が原因となる様々な皮膚障害が生じることなく、外観上優れた皮膚の褐色化や毛髪の黒色化することができる。更には、併用する他の有効成分の効能を阻害することができないため、メラニン生成促進と同時に、様々な皮膚及び毛髪の状態の改善化をもたらす有効成分の効能を十分発現させることができ、機能性の点でより好ましい化粧料組成物を提供することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】サリチル酸類及びサリチルアルコール類のB16メラノーマ細胞におけるメラニン生成促進作用を示した図である。

【図 1】



## フロントページの続き

(51) Int. Cl. <sup>7</sup>	識別記号	F I	テマコード (参考)
A 6 1 K	7/08	A 6 1 K	7/08
	7/11		7/11
	7/44		7/44
	7/48		7/48
	7/50		7/50
	31/60		31/60
	31/609		31/609
	31/7034		31/7034
A 6 1 P	17/14	A 6 1 P	17/14
	17/16		17/16

F ターク(参考) 4C083 AA032 AA072 AA082 AA112  
AA122 AB032 AB172 AB212  
AB232 AB242 AB272 AB312  
AB352 AB432 AB442 AC022  
AC032 AC072 AC102 AC122  
AC132 AC172 AC182 AC212  
AC242 AC342 AC352 AC422  
AC432 AC442 AC471 AC472  
AC532 AC542 AC552 AC582  
AC641 AC642 AC682 AC692  
AC782 AC792 AC852 AC902  
AD022 AD072 AD092 AD112  
AD201 AD202 AD212 AD312  
AD322 AD332 AD412 AD442  
AD452 AD512 AD532 AD552  
AD642 AD652 AD662 CC04  
CC05 CC06 CC07 CC12 CC19  
CC23 CC25 CC32 CC33 CC37  
CC38 CC39 DD05 DD12 DD23  
DD27 DD30 DD31 DD33 EE03  
EE17 EE22  
4C086 AA01 AA02 DA17 EA08 MA02  
MA04 MA63 NA05 ZA89 ZA92  
4C206 AA01 AA02 DB22 DB43 MA02  
MA04 MA83 NA05 ZA89 ZA92